

S t u d y

G

e

2024年度
(令和6年度)
カリキュラム
・
履修の手引き

【R4 年度以降入学生用】
人間環境大学
松山看護学部

2 0 2 4

CONTENTS

令和6(2024)年度 学年暦	2
令和6(2024)年度 学内施設利用時間・事務取扱時間	3
令和6(2024)年度 年間行事予定表	4
第Ⅰ部 松山看護学部カリキュラム	
1 人間環境大学松山看護学部について	7
2 松山看護学部の教育理念	8
3 松山看護学部看護学科の教育目的・教育目標	9
4 令和4(2022)年度以降入学者用カリキュラム表	13
5 カリキュラムマップ	16
6 カリキュラムツリー	17
7 松山看護学部 履修モデル	18
第Ⅱ部 松山看護学部履修ガイド	
1 学年度と授業について	31
2 単位制について	33
3 学修計画と履修登録について	35
4 履修方法について	45
5 保健師コース、選択強化プログラムの選考について	46
6 コースおよび選択強化プログラムの必修科目と卒業時に必要な単位数	46
7 臨地実習について	48
8 試験について	49
9 成績評価について	51
10 卒業資格、学位について	53
第Ⅲ部 松山キャンパス施設図	
校舎案内図	55

令和6(2024)年度 松山看護学部学年曆

【前期】令和6年4月1日(月)～9月15日(日)		
令和6年	4月1日(月)	令和6年度学年始、前期開始、春季休業終了
	4月2日(火)	前期オリエンテーション(2・3・4年生)
	4月4日(木)	入学式
	4月5日(金)	新入生オリエンテーション、健康診断(1年生)
	4月6日(土)	新入生オリエンテーション
	4月8日(月)	前期授業開始
	7月24日(水)	前期授業終了
	7月25日(木)～7月31日(水)	前期定期試験期間
	8月1日(木)	夏季休業開始
	9月6日(金)	前期成績発表
	9月15日(日)	夏季休業終了、前期終了
【後期】9月16日(月)～令和7年3月31日(月)		
	9月16日(月)	後期開始、後期オリエンテーション
	9月17日(火)	後期授業開始
	10月13日(日)	大学祭
	12月23日(月)	後期年内授業終了
	12月24日(火)	冬季休業開始
令和7年	1月5日(日)	冬季休業終了
	1月6日(月)	後期年明け授業開始
	1月21日(火)	後期授業終了
	1月22日(水)～1月28日(火)	後期定期試験期間
	1月29日(水)	春季休業開始
	3月10日(月)	後期成績発表
	3月16日(日)	学位授与式
	3月31日(月)	春季休業終了、後期終了、令和6年度学年終了

* 土曜日・日曜日・祝日・長期休業中であっても、授業や実習、集中講義を実施する場合があります。

* 令和6年度祝日講義日：4月29日(月)/昭和の日、7月15日(月)/海の日、9月23日(月)/秋分の日、10月14日(月)/スポーツの日、11月4日(金)/振替休日(11/3文化の日)、11月23日(土)/勤労感謝の日

令和6(2024)年度 松山看護学部 学内施設利用時間・事務取扱時間

学内施設利用時間

期間 施設等	授業期間・試験期間(前後期共通)	夏季、冬季、春季休業期間 (8/11~8/16、12/27~1/5は全日休業)
人間環境大学 附属図書館 松山キャンパス分館	月～金 9:00～20:00 水 9:00～18:00 土 9:00～14:00 日祝 休館 開館日時については図書館のHPで確認してください。	月～金 9:00～17:00 土 9:00～14:00 日祝 休館
講義室・演習室 (要利用手続)	月～金 9:00～18:00 土 使用不可 日祝 使用不可	月～金 9:00～17:00 土 使用不可 日祝 使用不可

事務取扱時間

期間 施設等	授業期間・試験期間(前後期共通)	夏季、冬季、春季休業期間 (8/11~8/16、12/27~1/5は全日休業)
事務室	月～土 9:00～18:00 日祝 休業	月～金 9:00～17:00 土 休業 日祝 休業

* 日祝授業日の事務取扱時間・学内施設利用時間は、授業・試験期間の月曜日～土曜日に準じます。

* 長期休業期間中並びに補講・集中講義期間中の施設利用時間については、別途掲示・連絡します。

* 入学試験等学内行事のための登校禁止日については、別途掲示・連絡します。

* 臨時で利用時間が変更になる場合は、その都度掲示・連絡します。

令和6年度 人間環境大学 松山看護学部 年間行事予定表

日	月	火	水	木	金	土	行事予定内容	
							日付	内 容
4		1	2 オリ	3	4 入学式	5 オリ	6 オリ	1(月) 2(火) 前期オリエンテーション(2・3・4年生)
		7 ①	8 ①	9 ①	10 ①	11 ①	12 ①	13 ①
		14 ②	15 ②	16 ②	17 ②	18 ②	19 ②	20 ②
		21 ③	22 ③	23 ③	24 ③	25 ③	26 ③	27 ③
		28 ④	29 ④	30 ④				
5				1 ④	2 ④	3 ④	4 ④	3(金)/4(土)/5(日) 6(月) 憲法記念日/みどりの日/こどもの日 振替休日
		5 ⑥	6 ⑤	7 ⑤	8 ⑤	9 ⑤	10 ④	11 ④
		12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	16 ⑥	17 ⑤	18 ⑤
		19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23 ⑦	24 ⑥	25 ⑥
		26 ⑦	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑧	30 ⑧	31 ⑦	
6							1 ⑦	
		2 ⑧	3 ⑨	4 ⑨	5 ⑨	6 ⑨	7 ⑧	8 ⑧
		9 ⑨	10 ⑩	11 ⑩	12 ⑩	13 ⑩	14 ⑨	15 ⑨
		16 ⑩	17 ⑪	18 ⑪	19 ⑪	20 ⑪	21 ⑩	22 ⑩
		23 ⑪	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑫	27 ⑫	28 ⑪	29 ⑪
7		1 ⑫	2 ⑬	3 ⑬	4 ⑬	5 ⑫	6 ⑫	(行事) ナーシング・セレモニー
		7 ⑬	8 ⑭	9 ⑭	10 ⑭	11 ⑭	12 ⑬	13 ⑬
		14 ⑭	15 ⑮	16 ⑮	17 ⑮	18 ⑮	19 ⑭	20 ⑭
		21 ⑮	22 ⑮	23 金 ⑮	24 土 ⑮	25 26 27		15(月) 24(水) 祝日講義日（海の日） 前期授業終了（土⑮講義）
		28 ⑯	29 ⑯	30 ⑯	31 ⑯			25(木)-31(水) 前期定期試験
8					1	2	3	(行事) 4年次科目定期試験/補講
		4 ⑯	5 合 追	6 補 講	7 補 講	8 補 講	9 補 講	1(木) 1(木)-3(土) 5(月) 夏季休業開始 前期追試験願提出 前期定期試験合格者発表(13:00～)、再試験願提出 前期追試験
		11 ⑯	12 ⑯	13 ⑯	14 ⑯	15 ⑯	16 ⑯	17 追試 6(火)-9(金) 11(日) 12(月) 前期補講期間 山の日 振替休日
		18 ⑯	19 ⑯	20 ⑯	21 ⑯	22 ⑯	23 ⑯	24 ⑯ 11(日)-16(金) 17(土) 夏季校舎閉鎖 前期追試験 19(月)-27(火) 19(月)-23(金) 29(木)-9/2(月) 基礎看護学実習 I (1年生) 地域・在宅看護学実習 II (2年生) 前期再試験期間
		25 ⑯	26 ⑯	27 ⑯	28 ⑯	29 再試 ⑯	30 再試 ⑯	31 再試 ⑯
9		1 ⑯	2 再 試	3 ⑯	4 ⑯	5 ⑯	6 成 績	(行事) 保護者懇談会
		8 ⑯	9 ⑯	10 ⑯	11 ⑯	12 ⑯	13 ⑯	14 ⑯
		15 ⑯	16 オリ	17 ⑯	18 ⑯	19 ⑯	20 ⑯	21 ⑯ 16(月) 17(火) 後期オリエンテーション 後期授業開始
		22 ⑯	23 ⑯	24 ⑯	25 ⑯	26 ⑯	27 ⑯	28 ⑯ 17(火)-20(金) 22(日) 後期履修登録修正・取消期間(後期科目) 秋分の日
		29 ⑯	30 ⑯					23(月) 24(火)-27(金) 祝日講義日：振替休日 「履修登録確認表」修正版交付

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定 内 容
	日付							
10			1 <small>③</small>	2 <small>③</small>	3 <small>③</small>	4 <small>③</small>	5 <small>③</small>	12(土) 13(日) 大学祭準備日 大学祭
	6	7 <small>③</small>	8 <small>④</small>	9 <small>④</small>	10 <small>④</small>	11 <small>④</small>	12 <small>準備日</small>	14(月) 祝日講義日(スポーツの日)
	13 <small>大学祭</small>	14 <small>④</small>	15 <small>⑤</small>	16 <small>⑤</small>	17 <small>⑤</small>	18 <small>⑤</small>	19 <small>④</small>	21(月)-25(金) 地域・在宅看護学実習 I (1年生)
	20	21 <small>⑤</small>	22 <small>⑥</small>	23 <small>⑥</small>	24 <small>⑥</small>	25 <small>⑥</small>	26 <small>⑤</small>	3(日) 4(月) 文化の日 祝日講義日(振替休日)
	27	28 <small>⑥</small>	29 <small>⑦</small>	30 <small>⑦</small>	31 <small>⑦</small>			23(土) 祝日講義日(勤労感謝の日)
						1 <small>⑦</small>	2 <small>⑥</small>	(行事) 4年次科目後期定期試験/補講/追再試験
	3	4 <small>⑦</small>	5 <small>⑧</small>	6 <small>⑧</small>	7 <small>⑧</small>	8 <small>⑧</small>	9 <small>⑦</small>	
	10	11 <small>⑧</small>	12 <small>⑨</small>	13 <small>⑨</small>	14 <small>⑨</small>	15 <small>⑨</small>	16 <small>⑧</small>	
	17	18 <small>⑨</small>	19 <small>⑩</small>	20 <small>⑩</small>	21 <small>⑩</small>	22 <small>⑩</small>	23 <small>⑨</small>	
	24	25 <small>⑩</small>	26 <small>⑪</small>	27 <small>⑪</small>	28 <small>⑪</small>	29 <small>⑪</small>	30 <small>⑩</small>	23(月) 年内授業終了 27(金)-1/5(日) 冬季校舎閉鎖
11	1	2 <small>⑪</small>	3 <small>⑫</small>	4 <small>⑫</small>	5 <small>⑫</small>	6 <small>⑫</small>	7 <small>⑪</small>	
	8	9 <small>⑫</small>	10 <small>⑬</small>	11 <small>⑬</small>	12 <small>⑬</small>	13 <small>⑬</small>	14 <small>⑫</small>	
	15	16 <small>⑬</small>	17 <small>⑭</small>	18 <small>⑭</small>	19 <small>⑭</small>	20 <small>⑭</small>	21 <small>⑬</small>	
	22	23 <small>⑭</small>	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
			1	2	3	4		(行事) 4年次科目後期成績発表/成績疑義申出期間 1(水) 元旦
	5	6 <small>⑯</small>	7 <small>⑯</small>	8 <small>⑯</small>	9 <small>⑯</small>	10 <small>⑯</small>	11 <small>⑯</small>	6(月) 13(月) 年明授業開始 成人の日
	12	13	14 <small>⑯</small>	15 <small>⑯</small>	16 <small>⑯</small>	17 <small>⑯</small>	18 <small>⑯</small>	20(月) 後期授業終了
	19	20 <small>⑯</small>	21 <small>土 ⑯</small>	22 <small>試</small>	23 <small>試</small>	24 <small>試</small>	25 <small>試</small>	22(水)-28(火) 29(水)-31(金) 後期定期試験 後期追試験願提出
	26	27 <small>試</small>	28 <small>試</small>	29	30	31		29(水) 春季休業開始
12							1 <small>追試</small>	
	2	3 <small>合格</small>	4 <small>補講</small>	5 <small>補講</small>	6 <small>補講</small>	7	8 <small>追試</small>	(行事) 看護師・保健師国家試験 1(土)・8(土) 後期追試験 3(月) 後期定期試験合格者発表(13:00~)、再試験願提出 4(火)-6(木) 後期補講期間
	9	10	11	12	13	14	15	10(月)-25(火) 11(火) 基礎看護学実習 II (2年生) 建国記念日
	16	17	18	19	20	21	22	23(日)/24(月) 天皇誕生日/振替休日
	23	24	25	26 <small>再試</small>	27 <small>再試</small>	28 <small>再試</small>		26(水)-28(金) 後期再試験期間
							1 <small>卒発表</small>	
	2	3	4	5	6	7	8	1(土) 卒業予定者発表
	9	10 <small>成績</small>	11	12	13	14	15	10(月) 後期成績発表(13:00~)
	16 <small>学位</small>	17	18	19	20	21	22	11(月)-14(木) 16(日) 後期成績疑義申出期間 学位授与式
	23	24	25	26	27	28	29	20(木) 春分の日
	30	31						31(月) 春季休業終了・後期終了・令和6年度学年終了

授業日 [①~⑯]

試験日

「31」(斜体数字)…大学休(日曜・祝日)

実習期間

事務窓口休業

※土曜・日曜・祝日・長期休業中であっても授業が開講される場合があります。

※授業日⑯は地域・在宅看護学実習 I を含み、1年生のみの受講回数となる

第一部

松山看護学部カリキュラム

1 人間環境大学松山看護学部について

人間環境大学は、環境科学部、心理学部（愛知県岡崎市）、看護学部（愛知県大府市）、松山看護学部、総合心理学部（愛媛県松山市）の5学部から成る大学です。松山看護学部は、人間環境学部、看護学部に次ぐ3つ目の学部として、2017年4月に第一期生を迎えました。本学部には、看護教育・研究、看護実践の経験豊かな教員が多数在籍しており、その経験知と実績を集結させて、質の高い看護実践ができる自立した看護職者を育成します。

松山看護学部は、令和5年度に開設した松山看護学研究科を含め、看護の管理者、教育者、研究者を含めた看護の人材を総合的に育成する「総合看護教育機関」を目指しています。

学部、松山看護学研究科博士前期課程、博士後期課程の三課程の関連は図1のようになっています。

看護は実践の科学であり、学問です。松山看護学部生の皆さんには、「豊かな人間性、自立した意志と高い倫理観をもって多職種連携ができ、社会貢献ができる看護実践者」として社会に羽ばたいてください。また、グローバルな視点をもって国際社会にも貢献できる能力を身に着けてください。さらに、高度な実践能力や管理者としてのリーダーシップ能力、教育者としての能力を修得するために大学院で学んでください。本学はみなさんのキャリアアップに十分に応えることができる教育機関です。

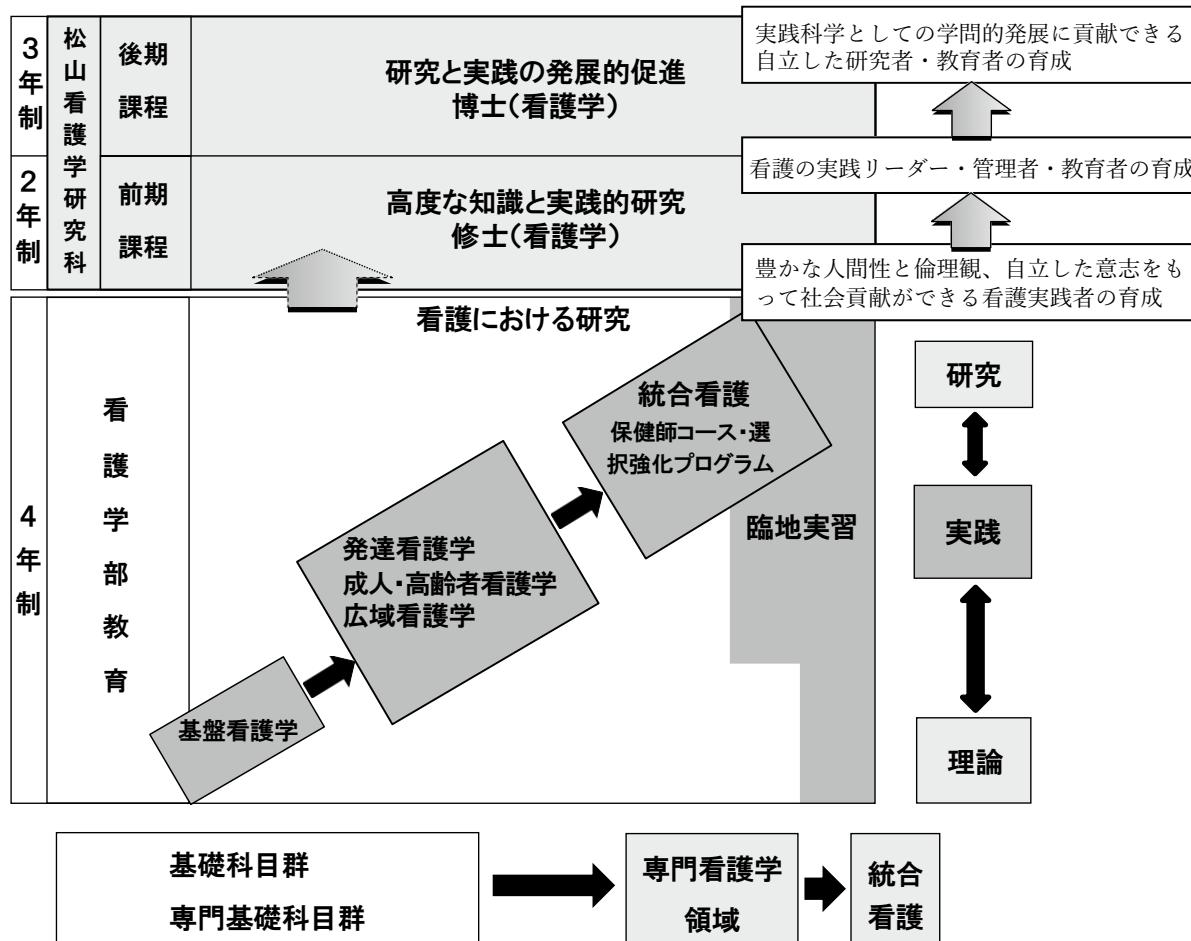


図1 松山看護学部の教育課程

2 松山看護学部の教育理念

少子高齢化、医療の高度化、社会変化と生活の多様化が進む中で、看護学もこれら社会の変遷を通して拡大された看護の役割をふまえ、より高度な看護教育が求められています。

松山看護学部の教育理念は、大学の教育理念のもと、人間の尊厳に基づいた豊かな人間性を培い、多様な健康ニーズに対応できる質の高い看護実践ができる看護職者を育成することです。それにより、人々が健康に生活し生きることを支援します。あわせて地域社会における保健・医療・福祉の連携と発展に貢献します。以上の教育理念を教育目的・教育目標との関連で示したものが図2です。

この構造図に示す教育理念は、目的とする質の高い看護実践ができる自立した看護職者の育成による直接的・間接的な看護活動の成果を示すものであり、目的とする「質の高い看護実践ができる自立した看護職者の育成」のために教育目標を設定し、これらの教育目標より求められる能力を5つ抽出しています。まず「豊かな人間性・倫理観」と「広い視野」は個々の看護職者の倫理観や価値観を育て、広く人類の文化・社会・自然に関する知識を修得し多様性の価値を養うことであり、科学的・専門的な「知識と技術」は、看護職者に必要なコミュニケーションスキルや問題解決能力を養います。さらに「判断力」「探求心」を加えて看護実践能力を育てるカリキュラムが構築されており、これらの科目を学修することにより、教育理念に沿う学生が育成されます。

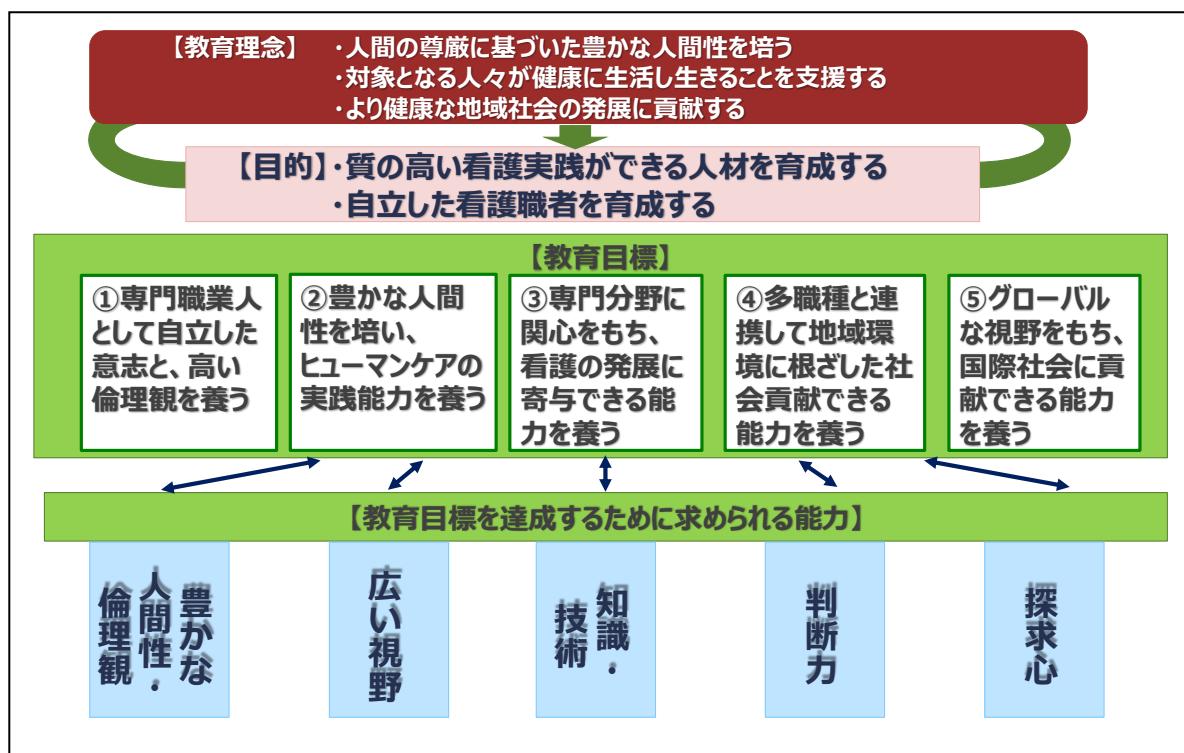


図2 教育理念と教育目的・教育目標との関連

3 松山看護学部看護学科の教育目的・教育目標

1)教育目的

教育理念に掲げる「人間の尊厳に基づいた豊かな人間性を培い、対象となる人々が、健康に生活し生きることを支援する看護、及び地域社会がより健康に発展するために貢献する看護」を目指し、この実現のために、看護の視点で高いヒューマンケアの実践能力を備え、基礎的な指導・調整能力を有し、専門的知識・技術をもって、地域社会に貢献できる看護職者の育成を目指すことを目的とします。

2)教育目標

- (1) 専門職業人として自立した意志と高い倫理観を養います。
- (2) 豊かな人間性を培い、ヒューマンケアの実践能力を養います。
- (3) 専門分野に関心をもち、看護の発展に寄与できる能力を養います。
- (4) 多職種と連携して地域環境に根ざした社会貢献できる能力を養います。
- (5) グローバルな視野や多様性に関心をもち、国際社会に貢献できる能力を養います。

3)松山看護学部の3つの方針

【学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

松山看護学部は、「人間の尊厳に基づいた豊かな人間性を培い、対象となる人々が、健康に生活し生きることを支援する看護、及び地域社会がより健康に発展するために貢献する看護」を教育理念に掲げています。そのために教育目標に掲げた「豊かな人間性と倫理観」「ヒューマンケアの実践能力」「専門職業人としての自立性」「多職種連携」「社会貢献」「グローバルな視野と多様性」「国際社会貢献」が学修成果として身についた者に卒業を認定し、学位を授与します。

具体的には、定められた130単位以上を修得し、以下のことを身につけた学生に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与します。

- (1)看護専門職者として、生命の尊厳や人間の尊重をふまえた高い倫理感を身につけ、他者に寄り添うことができる。
- (2)看護専門職者として、幅広い知識を有し豊かな人間性を備え、自立し専門的知識・技術や援助的人間関係能力を身につけることができる。
- (3)看護専門職者として、科学的・論理的思考に基づく観察力・判断力・問題解決能力を身につけることができる。
- (4)看護専門職者として多職種連携ができ、地域社会の発展に貢献できる能力を身につけることができる。
- (5)看護専門職者として探究心をもち、社会の変化にともなう看護の発展に寄与できる継続的自己学習能力を身につけることができる。
- (6)看護専門職者としてグローバルな視野をもち、国際社会の看護や保健医療福祉に貢献できる基礎的な能力を身につけることができる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

松山看護学部のカリキュラムは、前述した教育目的・教育目標に則り、ディプロマポリシー達成のために1年次から3年次前学期までは看護職者として必要な基礎科目、専門基礎科目、専門科目を講義や演習・実習で学びます。3年次後学期から4年次前学期までは臨地実習として看護の現場において、受持ち患者を中心に実践的な学習を行います。なお実践的な学習は、入学後早期（8月）に1週間の実習（基礎看護学実習Ⅰ）を行い、実践現場における看護の基礎的な知識・技術・態度を修得します。

また松山看護学部のカリキュラムの特色として、1年前期から倫理（生命倫理、看護倫理）を必修科目とし、人の生老病死について考える機会を設け、2年生ではそれを演習（生と死のケア演習）として共有し、人間が生きること、老いること、病むこと、死を迎えることについて考究します。4年次には看護研究を設定しています。さらに、看護師基本コースのほかに、保健師コース（選択）と4つの選択強化プログラム（小児看護、がん看護、認知症看護、在宅・終末期看護）を配置しています。

人材育成の方針は以下の通りです。

- (1)看護師国家試験受験資格取得を目的とする看護師課程を基本とする。
- (2)保健師国家試験受験資格を取得する保健師課程を設ける。
- (3)看護師課程におけるキャリア形成の基礎力を強化するプログラムとして、自由に選択できる小児看護、がん看護、認知症看護、在宅・終末期看護の4つの選択強化プログラムを設ける。
- (4)グローバルな視野をもって国際社会に貢献できる国際看護学領域を設ける。

＜学習方法＞

授業は、講義、演習、実験、実習（学内及び学外）のいずれかで行います。アクティブラーニングやシミュレーション教育、ICT技術、ペーパーペイントを取り入れ、実践を通した学習を行います。またコマシラバスを活用した授業ごとの予習・復習を課しています。

＜学習内容＞

- (1)初年次には「基礎ゼミナール」において、大学で学ぶためのアカデミックスキルを学び、「医療キャリアの基礎」では、将来看護専門職として成長するための方法を理解します。また本学の建学の理念である人間環境学の探求的科目として、「人間環境学」を設けております。
- (2)多様な生き方の理解や感性豊かで倫理観に基づいた行動がとれるための教養的科目を基礎科目として「コミュニケーションの基礎」「人間と生活の理解」の中から自由に選択できるように科目設定しております。
- (3)看護学の関連科目として、専門基礎科目に「人体の構造と機能」「疾病の治療と回復の促進」「健康と生活支援」に関する科目を設けており、看護学のエビデンスとして科学的問題解決能力の育成を目指します。
- (4)看護専門領域の科目として、専門科目に「基礎看護学」「看護教育・管理学」「小児看護学」「母性看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」「地域・在宅看護学」「地域看護学」「国際看護学」「精神看護学」を設けており、問題解決能力の獲得とキャリア形成の確立を目指します。

(5)看護の知識・技術を展開するために必要な科目と演習、看護実践能力を高めるための臨地・臨床実習を設けており、地域社会に貢献できる能力の育成を目指します。

＜学習成果の評価＞

各授業科目的単位認定は、コマシラバスに記載された履修判定基準に基づき、客観的な評価(筆記試験)を実施いたします。学年進級制は設定していませんが、臨地実習に関する履修要件を設定しています。決められた卒業要件を満たした学生は、4年次に看護師、保健師(保健師課程を選択した者)の国家試験受験資格が与えられます。

＜カリキュラム評価＞

在学中のGPA値や単位修得状況をふまえ、卒業生へのアンケートや就職先へのアンケートを実施することで、本学の教育課程で学んだ学生が学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示された学習成果を得ることができたか、就職先や進学先で学習成果として得られた能力を発揮することができているかを検証します。

【入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)】

生命とその尊厳を守り、あらゆる人々を最適な健康状態へと導く看護サービスを追求する豊かな人間愛と倫理観に富み、地域の保健・医療・福祉の発展に寄与できる看護人材の育成を目指し、次のような学生を求めます。

- (1)人々の健康に関心があり、人と関わることが好きな人
- (2)他者への感謝と相手の気持ちを考え、尊重できる人
- (3)自らの課題を発見し、解決に向け主体的に行動できる人
- (4)自分で努力して成長していくことができる人
- (5)看護職者を目指す熱意のある人

上記5つの要件を満たすために、規則正しく健康的な生活習慣を身につけ、正課外もしくは学外のボランティア活動や地域諸活動への積極的な関心と社会貢献への意欲を持つ者を求めます。

【学修成果の評価(アセスメントプラン)】

アセスメントプランは、学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準、評価の実施方法について定めた学内の方針です。松山看護学部では、教育の成果を可視化し、教育改善を行うため、以下の内容で学修成果等を点検・評価します。

評価は、学位授与方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）、学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）の3つのポリシーに基づき、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学部、学科）、科目レベル（授業科目）の3段階を必要に応じて関連させ、学修成果等を多面的、総合的に検証します。

表 松山看護学部の検証方法

	入学時・直後 アドミッションポリシーの検証	在学中 カリキュラムポリシーの検証	卒業時 ディプロマポリシーの検証
機関 レベル	入学方法と結果 入学試験 入学者動向	学修状況実態 休学率 退学率 転学科率	学位授与数 進路状況（就職率・進学率） 卒業生就業状況・離職状況
教育課程 レベル	入学ガイダンス 入学時アンケート プレイスメントテスト	GPA 修得単位数 学修時間・学習行動 コマシラバス利用状況 コース選択希望者状況 入学制度別成績状況 正課外活動状況	卒業率 大学院等進学率 国家試験合格率 ポートフォリオ PROG 保健師コース修了者数 看護師コース修了者数 選択コース修了者数 卒業時アンケート 入学制度別成績状況 (卒業後) 就職先アンケート
科目 レベル	入学期前学修 基礎ゼミナール	授業評価アンケート 授業評価に対する教員の評価報告 成績評価 ピアレビュー報告	各科目成績状況 卒業研究評価

4 令和4(2022)年度以降入学者用カリキュラム表

◎…必修 ○…選択 ●…選択必修

科目区分	科目コード	授業科目的名称	配当年次	期間	授業回数	単位数		看護師	保健師	選択強化プログラム				備考
						必修	選択			小児	がん	認知症	在宅	
基礎科目	専門基礎修習	ERA01 基礎ゼミナール	1	前	15	2		○	○	○	○	○	○	看護師基本コース・選択強化プログラムは、基礎科目の○印の科目から6単位以上選択、保健師コースは、基礎科目の○印の科目から4単位以上選択
		ERA02 人間環境学	1	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERA03 医療キャリアの基礎	1	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
	シヨミンユニのニ基ケ基礎	ERB01 英語 I (読解)	1	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERB02 英語 II (表現活用)	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERB03 英語 III (専門基礎)	1	前	8		1	○	○	○	○	○	○	
		ERB04 英語 IV (専門応用)	1	後	8		1	○	○	○	○	○	○	
		ERB05 コンピュータ基礎・情報処理法	1	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
	人間と生活の理解	ERC01 日本国憲法	1	前	15	2		○	○	○	○	○	○	看護師基本コースの学生は、基礎科目以外の選択科目(○印)から2単位以上選択、保健師コースの学生は、全選択科目(○印)から1単位以上選択、各選択強化プログラムの学生は○印の科目の履修は可能
		ERC02 愛媛を学ぶ	1	前	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC03 人間関係論	1	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERC04 教育心理学	1	前	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC05 フィットネススポーツ	1	前	15		1	○	○	○	○	○	○	
		ERC06 体育実技	1	後	15		1	○	○	○	○	○	○	
		ERC07 社会・環境と健康	1	後	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC08 家族社会学	1	後	15		2	○	●	○	○	○	○	
		ERC09 生命倫理学	1	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERC10 教育学	1	後	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC11 社会保障論	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERC12 哲学	1	前	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC13 芸術の世界	1	前	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC14 日本の歴史と文化	1	後	15		2	○	○	○	○	○	○	
		ERC15 経営学の基礎	1	前	15		2	○	○	○	○	○	○	
基礎科目			小計(23科目)				16	22						
専門基礎科目	人体の構造と機能	ERD01 解剖生理学 I	1	前	30	2		○	○	○	○	○	○	
		ERD02 解剖生理学 II	1	後	30	2		○	○	○	○	○	○	
		ERD03 解剖生理学 III	2	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERD04 微生物学	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERD05 生化学	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERD06 栄養学	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
	疾病回復の促進治療と	ERE01 病理学	2	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERE02 疾病・治療論 I	2	前	30	2		○	○	○	○	○	○	
		ERE03 疾病・治療論 II	2	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERE04 疾病・治療論 III	2	後	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERE05 老年疾病治療論	3	前	8		1	○	○	○	○	●	●	
		ERE06 薬理学	2	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
	健康と生活支援	ERF01 統計学	2	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERF02 疫学	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERF03 保健看護情報学(ICT)	3	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERF04 公衆衛生学	1	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERF05 保健医療福祉行政論	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERF06 臨床心理学	2	後	8		1	○	○	●	●	●	●	
		ERF07 カウンセリング	3	前	8		1	○	○	●	●	●	●	
		ERF08 チームケア論	3	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERF09 人権擁護と成年後見制度	3	前	8		1	○	●	○	○	○	○	
		ERF10 医療経営論	4	前	8		1	○	○	○	○	○	●	
専門基礎科目			小計(22科目)				27	5						

科目区分		科目コード	授業科目的名称	配当年次	期間	授業回数	単位数		看護師	保健師	選択強化プログラム				備考
必修	選択						小児	がん			認知症	在宅			
専門科目	基礎看護学	ERG01	看護学原論 I	1	前	15	2		○	○	○	○	○	○	看護師基本コースの学生は、基礎科目以外の選択科目(○印)から2単位以上選択、保健師コースの学生は、全選択科目(○印)から1単位以上選択、各選択強化プログラムの学生は○印の科目の履修は可能
		ERG02	看護学原論 II	4	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERG03	生活援助方法論	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERG04	生活援助方法演習	1	後	30	2		○	○	○	○	○	○	
		ERG05	診療援助方法論	2	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERG06	診療援助方法演習	2	前	30	2		○	○	○	○	○	○	
		ERG07	フィジカルアセスメント	2	後	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERG08	看護コミュニケーション論	1	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERG09	看護過程	2	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERG10	看護倫理	1	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
専門科目	基盤看護学	ERH01	地域・在宅看護学概論	1	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERH02	地域・在宅看護援助論 I	2	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
		ERH03	地域・在宅看護援助論 II	2	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERH04	在宅・終末期看護援助論	3	後	8		1						●	
		ERH05	在宅・終末期看護技術論	4	前	8		1						●	
		ERH06	在宅・終末期看護演習	4	前	8		1						●	
		ERI01	看護管理学	3	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERI02	看護教育論	4	後	8		1	○	○	○	○	○	○	
		ERI03	組織とリーダーシップ論	4	後	8		1	○	○	○	○	●	○	
		ERJ01	小児看護学概論	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
専門科目	発達看護学	ERJ02	小児看護援助論 I	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERJ03	小児看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERJ04	小児看護援助論	3	後	8		1			●				
		ERJ05	小児看護技術論	4	前	8		1			●				
		ERJ06	小児看護演習	4	前	8		1			●				
		ERK01	母性看護学概論	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERK02	母性看護援助論 I	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERK03	母性看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERL01	成人看護学概論	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERL02	成人看護援助論 I	2	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
専門科目	成人・高齢者看護学	ERL03	成人急性期看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERL04	成人慢性期看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERL05	がん看護援助論	3	後	8		1			●				
		ERL06	がん看護技術論	4	前	8		1			●				
		ERL07	がん看護演習	4	前	8		1			●				
		ERM01	高齢者看護学概論	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERM02	高齢者看護援助論 I	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERM03	高齢者看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERM04	認知症看護援助論	3	後	8		1				●			
		ERM05	認知症看護技術論	4	前	8		1				●			
専門科目	高齢者看護学	ERM06	認知症看護演習	4	前	8		1				●			
		ERN01	公衆衛生看護学概論	2	前	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERN02	公衆衛生看護援助論 I	2	後	30		2			●				
		ERN03	公衆衛生看護援助論 II	3	前	30		2			●				
		ERN04	公衆衛生看護援助論 III	4	前	30		2			●				
		ERN05	公衆衛生看護援助論 IV	4	後	15		2			●				
		ERO01	国際看護学 I	1	後	15	2		○	○	○	○	○	○	
		ERO02	国際看護学 II	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERO03	国際看護学 III	3	前	15		2	○	●	○	○	○	○	
		ERO04	国際看護学海外研修	2	前	-		1	○	○	○	○	○	○	
専門科目	広域看護学	ERP01	精神保健看護学概論	2	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERP02	精神看護援助論 I	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	
		ERP03	精神看護援助論 II	3	前	15	2		○	○	○	○	○	○	

科目区分	科目コード	授業科目的名称	配当年次	期間	授業回数	単位数		看護師	保健師	選択強化プログラム				備考
						必修	選択			小児	がん	認知症	在宅	
統合看護	ERQ01	生と死のケア演習	2	後	8	1		○	○	○	○	○	○	看護師基本コースの学生は、基礎科目以外の選択科目(○印)から2単位以上選択、保健師コースの学生は、全選択科目(○印)から1単位以上選択、各選択強化プログラムの学生は○印の科目の履修は可能
	ERQ02	災害看護学	3	前	8	1		○	○	○	○	○	○	
	ERQ03	緩和ケア論	3	前	8		1	○	○	○	●	○	●	
	ERQ04	ストレスマネジメント論	3	前	8		1	○	○	●	○	○	○	
	ERQ05	痛みの看護論	3	前	8		1	○	○	●	●	●	○	
	ERQ06	看護研究原論	3	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
	ERQ07	ヘルスアセスメント	4	前	15	1		○	○	○	○	○	○	
	ERQ08	統合講義	4	通	30	2		○	○	○	○	○	○	
	ERQ09	看護研究	4	通	30	2		○	○	○	○	○	○	
専門科目 (講義・演習)		小計(62科目)				56	28							
専門科目	ERR01	基礎看護学実習 I	1	前	-	1		○	○	○	○	○	○	
	ERR02	基礎看護学実習 II	2	後	-	2		○	○	○	○	○	○	
	ERR03	地域・在宅看護学実習 I	1	後	-	1		○	○	○	○	○	○	
	ERR04	地域・在宅看護学実習 II	2	前	-	1		○	○	○	○	○	○	
	ERR05	地域・在宅看護学実習 III	4	前	-	2		○	○	○	○	○	○	
	ERR06	小児看護学実習	3	後	-	2		○	○	○	○	○	○	
	ERR07	母性看護学実習	3	後	-	2		○	○	○	○	○	○	
	ERR08	精神看護学実習	4	前	-	2		○	○	○	○	○	○	
	ERR09	成人看護学実習	3	後	-	4		○	○	○	○	○	○	
	ERR10	高齢者看護学実習	3	後	-	4		○	○	○	○	○	○	
	ERR11	公衆衛生看護学実習 I	4	前	-	3		●						
	ERR12	公衆衛生看護学実習 II	4	後	-	2		●						
	ERR13	統合実習	4	前	-	2		○	○	○	○	○	○	
専門科目(実習)		小計(13科目)				23	5							
専門科目		合計(75科目)				79	33							
		合計(120科目)				122	60							

学位または称号

学士（看護学）

卒業要件および履修方法

学生は4年以上在学し、合計130単位以上履修すること。

「基礎科目」から必修科目として16単位を修得すること。

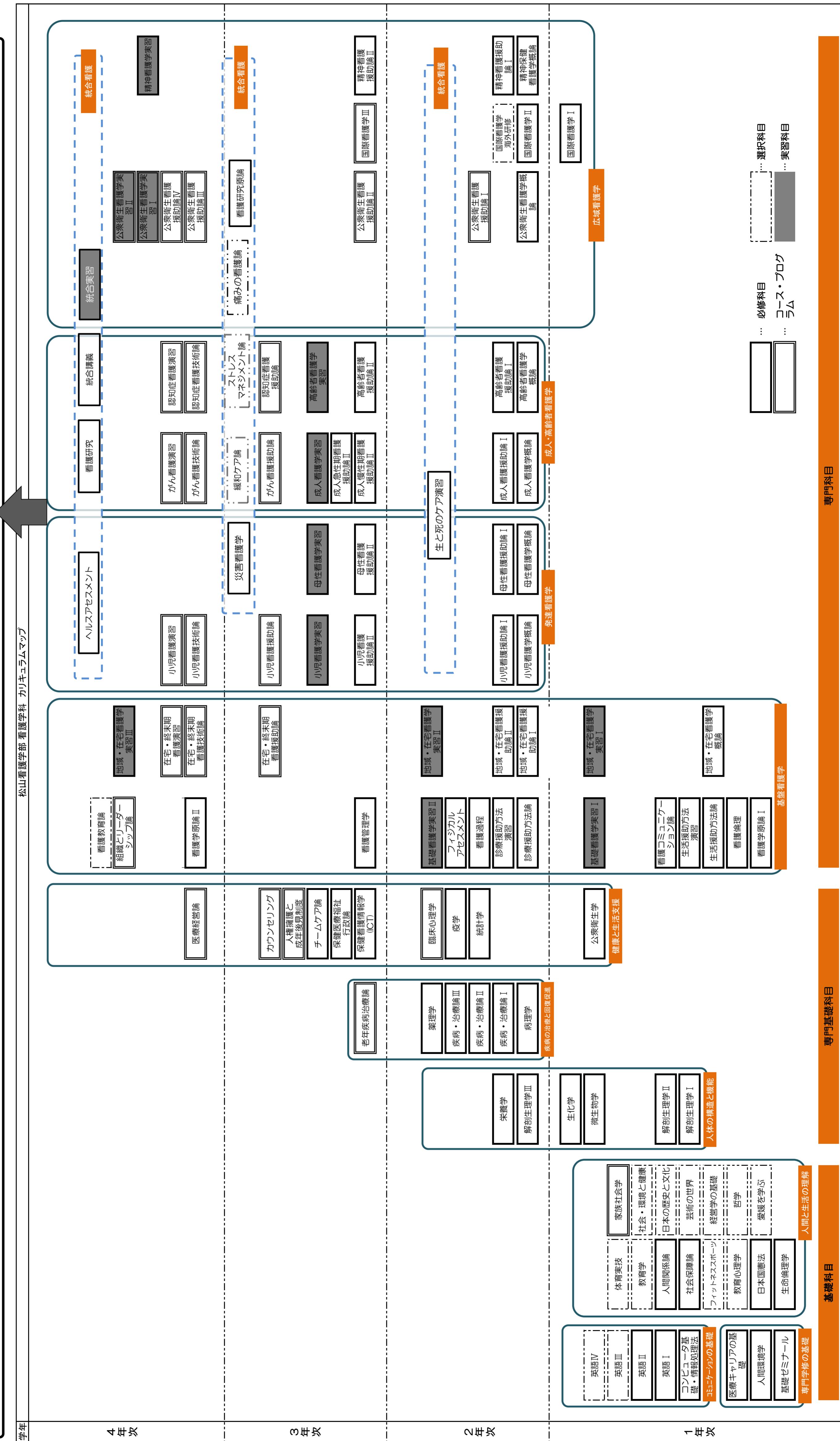
「専門基礎科目」から必修科目として27単位、「専門科目」から必修科目として56単位、「臨地実習」から必修科目として23単位、選択科目として「基礎科目」から6単位、「基礎科目以外」から2単位を修得すること。

【履修科目の登録の上限：年間47単位（緩和措置在り）】

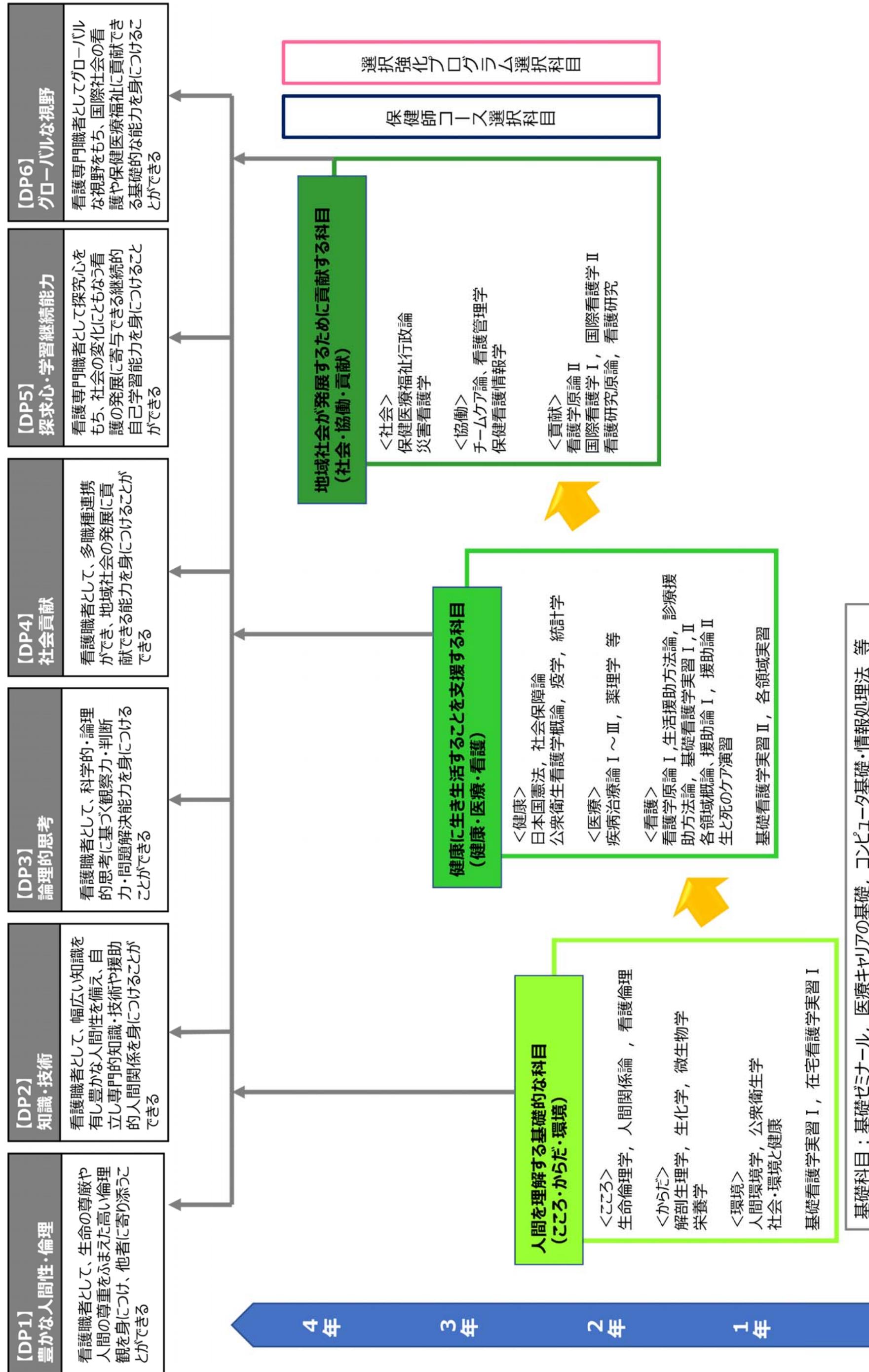
カリキュラムマップ

松山看護学部の材育成目標
松山看護学部の理念に掲げる「対
に貢献できる看護職者の育成を目標

この表現は、必ずしも「かわいがり」の意味で、親切な言葉を意味する。しかし、この表現は、必ずしも「かわいがり」の意味で、親切な言葉を意味する。



6 人間環境大学松山看護学部 カリキュラムツリー



7 松山看護学部 履修モデル

1) 看護師基本コース

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2		◎						
		人間環境学	1前	2		◎						
		医療キャリアの基礎	1前	1		◎						
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2		◎						
		英語 II (表現活用)	1後	2			◎					
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1		◎						
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2		◎						
		人間関係論	1後	1			◎					
		生命倫理学	1前	1		◎						
		社会保障論	1後	2		◎						
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2		◎						
		解剖生理学 II	1後	2			◎					
		解剖生理学 III	2前	2				◎				
		微生物学	1後	2			◎					
		生化学	1後	2			◎					
		栄養学	2前	1				◎				
	疾病の治療と回復促進	病理学	2前	2				◎				
		疾病・治療論 I	2前	2				◎				
		疾病・治療論 II	2前	1				◎				
		疾病・治療論 III	2後	1					◎			
		薬理学	2後	2					◎			
	健康と生活支援	統計学	2後	2					◎			
		疫学	2後	1					◎			
		保健看護情報学(ICT)	3前	1						◎		
		公衆衛生学	1後	1			◎					
		保健医療福祉行政論	3前	2						◎		
		チームケア論	3前	1						◎		
専門科目	基礎看護学	看護学原論 I	1前	2		◎						
		看護学原論 II	4前	1								◎
		生活援助方法論	1後	2			◎					
		生活援助方法演習	1後	2			◎					
		診療援助方法論	2前	2				◎				
		診療援助方法演習	2前	2				◎				
		フィジカルアセスメント	2後	1					◎			
		看護コミュニケーション論	1後	1			◎					
	地域・在宅看護学	看護過程	2前	1				◎				
		看護倫理	1前	1		◎						
	看護教育・管理学	地域・在宅看護学概論	1後	1			◎					
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1				◎				
		地域・在宅看護援助論 II	2後	2					◎			
		看護管理学	3前	1						◎		

科目区分			授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	発達看護学	小児看護学	小児看護学概論	2前	1				◎					
			小児看護援助論 I	2後	1					◎				
			小児看護援助論 II	3前	2						◎			
	母性看護学	母性看護学	母性看護学概論	2前	1				◎					
			母性看護援助論 I	2後	1				◎					
			母性看護援助論 II	3前	2						◎			
専門科目	成人・高齢者看護学	成人看護学	成人看護学概論	2前	1				◎					
			成人看護援助論 I	2後	2					◎				
			成人急性期看護援助論 II	3前	2						◎			
			成人慢性期看護援助論 II	3前	2						◎			
	高齢者看護学	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	1				◎					
			高齢者看護援助論 I	2後	1					◎				
			高齢者看護援助論 II	3前	2						◎			
	広域看護学	地域看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				◎					
			国際看護学 I	1後	2			◎						
		国際看護学	国際看護学 II	2前	1				◎					
			精神保健看護学概論	2前	1				◎					
	精神看護学	精神看護援助論 I	2後	1					◎					
		精神看護援助論 II	3前	2						◎				
		生と死のケア演習	2後	1					◎					
専門科目	統合看護	災害看護学	3前	1						◎				
		看護研究原論	3前	1						◎				
		ヘルスアセスメント	4前	1								◎		
		統合講義	4通	2									◎	
		看護研究	4通	2									◎	
		基礎看護学実習 I	1前	1		◎								
		基礎看護学実習 II	2後	2						◎				
		地域・在宅看護学実習 I	1後	1			◎							
		地域・在宅看護学実習 II	2前	1				◎						
		地域・在宅看護学実習 III	4前	2								◎		
専門科目	臨地実習	小児看護学実習	3後	2							◎			
		母性看護学実習	3後	2							◎			
		精神看護学実習	4前	2								◎		
		成人看護学実習	3後	4							◎			
		高齢者看護学実習	3後	4							◎			
		統合実習	4前	2								◎		

「基礎科目」から6単位、「基礎科目」以外の科目から2単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	122							
	8(選択科目)							
	130							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。

2) 保健師コース

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2		◎						
		人間環境学	1前	2		◎						
		医療キャリアの基礎	1前	1		◎						
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2		◎						
		英語 II (表現活用)	1後	2			◎					
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1		◎						
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2		◎						
		人間関係論	1後	1			◎					
		家族社会学	1後	2			●					
		生命倫理学	1前	1		◎						
		社会保障論	1後	2			◎					
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2		◎						
		解剖生理学 II	1後	2			◎					
		解剖生理学 III	2前	2				◎				
		微生物学	1後	2			◎					
		生化学	1後	2			◎					
		栄養学	2前	1				◎				
	疾病の治療と回復促進	病理学	2前	2				◎				
		疾病・治療論 I	2前	2				◎				
		疾病・治療論 II	2前	1				◎				
		疾病・治療論 III	2後	1					◎			
		薬理学	2後	2					◎			
	健康と生活支援	統計学	2後	2					◎			
		疫学	2後	1					◎			
		保健看護情報学(ICT)	3前	1						◎		
		公衆衛生学	1後	1			◎					
		保健医療福祉行政論	3前	2						◎		
		チームケア論	3前	1						◎		
		人権擁護と成年後見制度	3前	1						●		
専門科目	基礎看護学	看護学原論 I	1前	2		◎						
		看護学原論 II	4前	1								◎
		生活援助方法論	1後	2			◎					
		生活援助方法演習	1後	2			◎					
		診療援助方法論	2前	2				◎				
		診療援助方法演習	2前	2				◎				
		フィジカルアセスメント	2後	1					◎			
		看護コミュニケーション論	1後	1			◎					
		看護過程	2前	1				◎				
	地域・在宅看護学	看護倫理	1前	1		◎						
		地域・在宅看護学概論	1後	1			◎					
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1				◎				
	看護教育・管理学	地域・在宅看護援助論 II	2後	2					◎			
		看護管理学	3前	1						◎		

科目区分			授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
					必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	発達看護学	小児看護学	小児看護学概論	2前	1				◎					
			小児看護援助論Ⅰ	2後	1					◎				
			小児看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
	母性看護学	母性看護学	母性看護学概論	2前	1				◎					
			母性看護援助論Ⅰ	2後	1				◎					
			母性看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
専門科目	成人・高齢者看護学	成人看護学	成人看護学概論	2前	1				◎					
			成人看護援助論Ⅰ	2後	2					◎				
			成人急性期看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
			成人慢性期看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
	高齢者看護学	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	1				◎					
			高齢者看護援助論Ⅰ	2後	1					◎				
			高齢者看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
	広域看護学	地域看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				◎					
			公衆衛生看護援助論Ⅰ	2後	2					●				
			公衆衛生看護援助論Ⅱ	3前	2					●				
			公衆衛生看護援助論Ⅲ	4前	2						●			
			公衆衛生看護援助論Ⅳ	4後	2							●		
	国際看護学	国際看護学	国際看護学Ⅰ	1後	2			◎						
			国際看護学Ⅱ	2前	1				◎					
			国際看護学Ⅲ	3前	2					●				
	精神看護学	精神看護学	精神保健看護学概論	2前	1				◎					
			精神看護援助論Ⅰ	2後	1				◎					
			精神看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
	統合看護	統合看護	生と死のケア演習	2後	1				◎					
			災害看護学	3前	1					◎				
			看護研究原論	3前	1					◎				
			ヘルスアセスメント	4前	1							◎		
			統合講義	4通	2								◎	
			看護研究	4通	2								◎	
	臨地実習	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1		◎							
			基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					◎				
		地域・在宅看護学	地域・在宅看護学実習Ⅰ	1後	1			◎						
			地域・在宅看護学実習Ⅱ	2前	1				◎					
		地域・在宅看護学	地域・在宅看護学実習Ⅲ	4前	2							◎		
			小児看護学実習	3後	2						◎			
		母性看護学	母性看護学実習	3後	2						◎			
			精神看護学実習	4前	2							◎		
		成人看護学	成人看護学実習	3後	4						◎			
			高齢者看護学実習	3後	4						◎			
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前	3							●		
			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後	2								●	
		統合実習	統合実習	4前	2								◎	

「基礎科目」から4単位、「基礎科目」以外の科目から1単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	140							
	5(選択科目)							
	145							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。
保健師コースは、必修140単位+選択5単位の145単位以上である。

3) 小児看護強化コース

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2	◎							
		人間環境学	1前	2	◎							
		医療キャリアの基礎	1前	1	◎							
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2	◎							
		英語 II (表現活用)	1後	2		◎						
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1	◎							
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2	◎							
		人間関係論	1後	1		◎						
		生命倫理学	1前	1	◎							
		社会保障論	1後	2		◎						
	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2	◎							
		解剖生理学 II	1後	2		◎						
専門基礎科目	解剖生理学 III	2前	2				◎					
	微生物学	1後	2		◎							
	生化学	1後	2		◎							
	栄養学	2前	1				◎					
	病理学	2前	2			◎						
	疾病・治療論 I	2前	2			◎						
	疾病・治療論 II	2前	1			◎						
	疾病・治療論 III	2後	1				◎					
	薬理学	2後	2			◎						
	健康と生活支援	統計学	2後	2			◎					
		疫学	2後	1			◎					
		保健看護情報学(ICT)	3前	1				◎				
専門科目	公衆衛生学	1後	1		◎							
	保健医療福祉行政論	3前	2				◎					
	臨床心理学	2後	1				●					
	カウンセリング	3前	1				●					
	チームケア論	3前	1				◎					
	基礎看護学	看護学原論 I	1前	2	◎							
		看護学原論 II	4前	1						◎		
		生活援助方法論	1後	2		◎						
		生活援助方法演習	1後	2		◎						
		診療援助方法論	2前	2			◎					
		診療援助方法演習	2前	2			◎					
		フィジカルアセスメント	2後	1				◎				
		看護コミュニケーション論	1後	1		◎						
		看護過程	2前	1			◎					
	地域・在宅看護学	看護倫理	1前	1	◎							
		地域・在宅看護学概論	1後	1		◎						
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1			◎					
		地域・在宅看護援助論 II	2後	2				◎				
	看護教育・管理学	看護管理学	3前	1					◎			

科目区分		授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	発達看護学	小児看護学概論	2前	1				◎					
		小児看護援助論Ⅰ	2後	1					◎				
		小児看護援助論Ⅱ	3前	2						◎			
		小児看護援助論	3後	1						●			
		小児看護技術論	4前	1						●			
	母性看護学	小児看護演習	4後	1								●	
		母性看護学概論	2前	1				◎					
		母性看護援助論Ⅰ	2後	1				◎					
	成人・高齢者看護学	母性看護援助論Ⅱ	3前	2					◎				
		成人看護学概論	2前	1				◎					
		成人看護援助論Ⅰ	2後	2				◎					
		成人急性期看護援助論Ⅱ	3前	2					◎				
専門科目	高齢者看護学	成人慢性期看護援助論Ⅱ	3前	2				◎					
		高齢者看護学概論	2前	1				◎					
		高齢者看護援助論Ⅰ	2後	1				◎					
	地域看護学	高齢者看護援助論Ⅱ	3前	2				◎					
		公衆衛生看護学概論	2前	2				◎					
		国際看護学Ⅰ	1後	2			◎						
	広域看護学	国際看護学Ⅱ	2前	1				◎					
		精神保健看護学概論	2前	1				◎					
		精神看護援助論Ⅰ	2後	1				◎					
	統合看護	精神看護援助論Ⅱ	3前	2					◎				
		生と死のケア演習	2後	1				◎					
		災害看護学	3前	1					◎				
		ストレスマネジメント論	3前	1					●				
		痛みの看護論	3前	1					●				
		看護研究原論	3前	1					◎				
		ヘルスアセスメント	4前	1						◎			
専門科目	臨地実習	統合講義	4通	2							◎		
		看護研究	4通	2							◎		
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	1		◎							
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2				◎					
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	1後	1			◎						
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	2前	1				◎					
		地域・在宅看護学実習Ⅲ	4前	2							◎		
		小児看護学実習	3後	2						◎			
		母性看護学実習	3後	2						◎			
		精神看護学実習	4前	2							◎		

「基礎科目」から6単位、「基礎科目」以外の科目*から2単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	122							
	8(選択科目)+5**							
	135							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。

*「基礎科目」以外の科目として、臨床心理学1単位、カウンセリング1単位の合計2単位を必要とする。

**当該領域の3科目3単位 + 「統合看護」から選択科目2単位以上を選択する。この選択科目2単位には、ストレスマネジメント論1単位と痛みの看護論1単位の2単位を含める。

4) がん看護強化コース

科目区分		授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2		◎							
		人間環境学	1前	2		◎							
		医療キャリアの基礎	1前	1		◎							
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2		◎							
		英語 II (表現活用)	1後	2			◎						
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1		◎							
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2		◎							
		人間関係論	1後	1			◎						
		生命倫理学	1前	1		◎							
		社会保障論	1後	2			◎						
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2		◎							
		解剖生理学 II	1後	2			◎						
		解剖生理学 III	2前	2				◎					
		微生物学	1後	2			◎						
		生化学	1後	2			◎						
		栄養学	2前	1				◎					
	疾病の治療と回復促進	病理学	2前	2				◎					
		疾病・治療論 I	2前	2				◎					
		疾病・治療論 II	2前	1				◎					
		疾病・治療論 III	2後	1				◎					
		薬理学	2後	2				◎					
	健康と生活支援	統計学	2後	2					◎				
		疫学	2後	1					◎				
		保健看護情報学(ICT)	3前	1						◎			
		公衆衛生学	1後	1			◎						
		保健医療福祉行政論	3前	2						◎			
		臨床心理学	2後	1						●			
		カウンセリング	3前	1						●			
専門科目	基礎看護学	チームケア論	3前	1					◎				
		看護学原論 I	1前	2		◎							
		看護学原論 II	4前	1							◎		
		生活援助方法論	1後	2			◎						
		生活援助方法演習	1後	2			◎						
		診療援助方法論	2前	2				◎					
		診療援助方法演習	2前	2				◎					
		フィジカルアセスメント	2後	1					◎				
		看護コミュニケーション論	1後	1			◎						
	地域・在宅看護学	看護過程	2前	1					◎				
		看護倫理	1前	1		◎							
	看護教育・管理学	地域・在宅看護学概論	1後	1			◎						
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1				◎					
		地域・在宅看護援助論 II	2後	2					◎				
		看護管理学	3前	1						◎			

科目区分		授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	発達看護学	小児看護学概論	2前	1				◎					
		小児看護援助論 I	2後	1				◎					
		小児看護援助論 II	3前	2					◎				
	母性看護学	母性看護学概論	2前	1				◎					
		母性看護援助論 I	2後	1				◎					
		母性看護援助論 II	3前	2					◎				
専門科目	成人・高齢者看護学	成人看護学概論	2前	1				◎					
		成人看護援助論 I	2後	2				◎					
		成人急性期看護援助論 II	3前	2					◎				
		成人慢性期看護援助論 II	3前	2					◎				
		がん看護援助論	3後	1						●			
		がん看護技術論	4前	1						●			
		がん看護演習	4後	1							●		
	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	1				◎					
		高齢者看護援助論 I	2後	1				◎					
		高齢者看護援助論 II	3前	2					◎				
	地域看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				◎					
		国際看護学 I	1後	2			◎						
		国際看護学 II	2前	1				◎					
	精神看護学	精神保健看護学概論	2前	1				◎					
		精神看護援助論 I	2後	1				◎					
		精神看護援助論 II	3前	2					◎				
専門科目	統合看護	生と死のケア演習	2後	1				◎					
		災害看護学	3前	1					◎				
		緩和ケア論	3前	1					●				
		痛みの看護論	3前	1					●				
		看護研究原論	3前	1					◎				
		ヘルスアセスメント	4前	1						◎			
		統合講義	4通	2							◎		
		看護研究	4通	2							◎		
	臨地実習	基礎看護学実習 I	1前	1		◎							
		基礎看護学実習 II	2後	2				◎					
		地域・在宅看護学実習 I	1後	1			◎						
		地域・在宅看護学実習 II	2前	1				◎					
		地域・在宅看護学実習 III	4前	2							◎		
		小児看護学実習	3後	2						◎			
		母性看護学実習	3後	2						◎			
		精神看護学実習	4前	2							◎		
		成人看護学実習	3後	4						◎			
		高齢者看護学実習	3後	4						◎			
		統合実習	4前	2							◎		

「基礎科目」から6単位、「基礎科目」以外の科目*から2単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	122							
	8(選択科目)+5**							
	135							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。

*「基礎科目」以外の科目として、臨床心理学1単位、カウンセリング1単位の合計2単位を必要とする。

**当該領域の3科目3単位 +「統合看護」から選択科目2単位以上を選択する。この選択科目2単位には、緩和ケア論1単位と痛みの看護論1単位の2単位を含める。

5) 認知症看護強化コース

科目区分	授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
			必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2	◎							
		人間環境学	1前	2	◎							
		医療キャリアの基礎	1前	1	◎							
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2	◎							
		英語 II (表現活用)	1後	2		◎						
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1	◎							
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2	◎							
		人間関係論	1後	1		◎						
		生命倫理学	1前	1	◎							
		社会保障論	1後	2		◎						
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2	◎							
		解剖生理学 II	1後	2		◎						
		解剖生理学 III	2前	2				◎				
		微生物学	1後	2		◎						
		生化学	1後	2		◎						
		栄養学	2前	1				◎				
	疾病の治療と回復促進	病理学	2前	2				◎				
		疾病・治療論 I	2前	2				◎				
		疾病・治療論 II	2前	1				◎				
		疾病・治療論 III	2後	1				◎				
		老年疾病治療論	3前	1					●			
		薬理学	2後	2				◎				
	健康と生活支援	統計学	2後	2				◎				
		疫学	2後	1				◎				
		保健看護情報学(ICT)	3前	1					◎			
		公衆衛生学	1後	1		◎						
		保健医療福祉行政論	3前	2					◎			
		臨床心理学	2後	1				●				
		チームケア論	3前	1					◎			
専門科目	基礎看護学	看護学原論 I	1前	2	◎							
		看護学原論 II	4前	1								◎
		生活援助方法論	1後	2		◎						
		生活援助方法演習	1後	2		◎						
		診療援助方法論	2前	2				◎				
		診療援助方法演習	2前	2			◎					
		フィジカルアセスメント	2後	1				◎				
		看護コミュニケーション論	1後	1		◎						
		看護過程	2前	1			◎					
		看護倫理	1前	1	◎							
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	1後	1		◎						
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1				◎				
		地域・在宅看護援助論 II	2後	2				◎				
	看護教育・管理学	看護管理学	3前	1					◎			
		組織リーダーシップ論	4後	1								●

科目区分		授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目	発達看護学	小児看護学概論	2前	1				◎					
		小児看護援助論 I	2後	1					◎				
		小児看護援助論 II	3前	2						◎			
		母性看護学概論	2前	1				◎					
		母性看護援助論 I	2後	1					◎				
		母性看護援助論 II	3前	2						◎			
	成人・高齢者看護学	成人看護学概論	2前	1				◎					
		成人看護援助論 I	2後	2					◎				
		成人急性期看護援助論 II	3前	2						◎			
		成人慢性期看護援助論 II	3前	2						◎			
専門科目	高齢者看護学	高齢者看護学概論	2前	1				◎					
		高齢者看護援助論 I	2後	1					◎				
		高齢者看護援助論 II	3前	2						◎			
		認知症看護援助論	3後	1						●			
		認知症看護技術論	4前	1							●		
		認知症看護演習	4後	1							●		
	地域看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				◎					
		国際看護学 I	1後	2			◎						
	国際看護学	国際看護学 II	2前	1				◎					
		精神保健看護学概論	2前	1				◎					
		精神看護援助論 I	2後	1					◎				
専門科目	統合看護	精神看護援助論 II	3前	2					◎				
		生と死のケア演習	2後	1					◎				
		災害看護学	3前	1						◎			
		痛みの看護論	3前	1						●			
		看護研究原論	3前	1						◎			
		ヘルスマーケティング	4前	1							◎		
		統合講義	4通	2								◎	
		看護研究	4通	2								◎	
	臨地実習	基礎看護学実習 I	1前	1	◎								
		基礎看護学実習 II	2後	2					◎				
		地域・在宅看護学実習 I	1後	1		◎							

「基礎科目」から6単位、「基礎科目」以外の科目*から2単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	122							
	8(選択科目)+5**							
	135							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。

*「基礎科目」以外の科目として、老年疾病治療論1単位、臨床心理学1単位の合計2単位を必要とする。

**当該領域の3科目3単位+「専門科目」から選択科目2単位以上を選択する。この選択科目2単位には、組織リーダーシップ論1単位と痛みの看護論1単位の2単位を含める。

6) 在宅・終末期看護強化コース

科目区分		授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
				必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1前	2		◎							
		人間環境学	1前	2		◎							
		医療キャリアの基礎	1前	1		◎							
	コミュニケーションの基礎	英語 I (読解)	1前	2		◎							
		英語 II (表現活用)	1後	2			◎						
		コンピュータ基礎・情報処理法	1前	1		◎							
	人間と生活の理解	日本国憲法	1前	2		◎							
		人間関係論	1後	1			◎						
		生命倫理学	1前	1		◎							
		社会保障論	1後	2			◎						
専門基礎科目	人体の構造と機能	解剖生理学 I	1前	2		◎							
		解剖生理学 II	1後	2			◎						
		解剖生理学 III	2前	2				◎					
		微生物学	1後	2			◎						
		生化学	1後	2			◎						
		栄養学	2前	1				◎					
	疾病の治療と回復促進	病理学	2前	2				◎					
		疾病・治療論 I	2前	2				◎					
		疾病・治療論 II	2前	1				◎					
		疾病・治療論 III	2後	1					◎				
		老年疾病治療論	3前	1						●			
		薬理学	2後	2					◎				
	健康と生活支援	統計学	2後	2					◎				
		疫学	2後	1					◎				
		保健看護情報学(ICT)	3前	1						◎			
		公衆衛生学	1後	1			◎						
		保健医療福祉行政論	3前	2						◎			
		カウンセリング	3前	1						●			
		チームケア論	3前	1						◎			
		医療経営論	4前	1								●	
専門科目	基礎看護学	看護学原論 I	1前	2		◎							
		看護学原論 II	4前	1								◎	
		生活援助方法論	1後	2			◎						
		生活援助方法演習	1後	2			◎						
		診療援助方法論	2前	2				◎					
		診療援助方法演習	2前	2				◎					
		フィジカルアセスメント	2後	1					◎				
		看護コミュニケーション論	1後	1			◎						
		看護過程	2前	1				◎					
	基盤看護学	看護倫理	1前	1		◎							
		地域・在宅看護学概論	1後	1			◎						
		地域・在宅看護援助論 I	2前	1				◎					
		地域・在宅看護援助論 II	2後	2					◎				
		在宅・終末期看護援助論	3後	1						●			
		在宅・終末期看護技術論	4前	1							●		
		在宅・終末期看護演習	4後	1								●	
		看護教育・管理学	3前	1						◎			

科目区分			授業科目名	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次	
専門科目	発達看護学	必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
		小児看護学概論	2前	1				◎						
		小児看護援助論 I	2後	1					◎					
		小児看護援助論 II	3前	2						◎				
		母性看護学概論	2前	1				◎						
		母性看護援助論 I	2後	1					◎					
		母性看護援助論 II	3前	2						◎				
	成人・高齢者看護学	成人看護学概論	2前	1				◎						
		成人看護援助論 I	2後	2					◎					
		成人急性期看護援助論 II	3前	2						◎				
	地域看護学	成人慢性期看護援助論 II	3前	2						◎				
		高齢者看護学概論	2前	1				◎						
		高齢者看護援助論 I	2後	1					◎					
		高齢者看護援助論 II	3前	2						◎				
	広域看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				◎						
		国際看護学 I	1後	2			◎							
		国際看護学 II	2前	1				◎						
	精神看護学	精神保健看護学概論	2前	1			◎							
		精神看護援助論 I	2後	1				◎						
		精神看護援助論 II	3前	2					◎					
	統合看護	生と死のケア演習	2後	1					◎					
		災害看護学	3前	1						◎				
		緩和ケア論	3前	1						●				
		看護研究原論	3前	1						◎				
		ヘルスアセスメント	4前	1							◎			
		統合講義	4通	2								◎		
		看護研究	4通	2								◎		
	臨地実習	基礎看護学実習 I	1前	1		◎								
		基礎看護学実習 II	2後	2					◎					
		地域・在宅看護学実習 I	1後	1			◎							
		地域・在宅看護学実習 II	2前	1				◎						
		地域・在宅看護学実習 III	4前	2							◎			
		小児看護学実習	3後	2						◎				
		母性看護学実習	3後	2						◎				
		精神看護学実習	4前	2							◎			
		成人看護学実習	3後	4						◎				
		高齢者看護学実習	3後	4						◎				
		統合実習	4前	2							◎			

「基礎科目」から6単位、「基礎科目」以外の科目*から2単位以上

履修単位数	17	21	22	19	19	12	10	2
	122							
	8(選択科目)+5**							
	135							

(注) ◎印は「必修科目」を、●印は「選択必修科目」を表す。

- *「基礎科目」以外の科目として、老年疾病治療論1単位、カウンセリング1単位の合計2単位を必要とする。
- **当該領域の3科目3単位 +「専門基礎科目および専門科目」から選択科目2単位以上を選択する。この選科目2単位には、医療経営論1単位、緩和ケア論1単位の2単位を含める。

第 II 部

松山看護学部履修ガイド

1 学年度と授業について

学年度とは

学年度は前期と後期の2期に分かれています。前期は4月1日に始まって9月15日に終わり、後期は9月16日に始まって3月31日に終わります。

なお、当該年度の年間行事予定表および学年暦は毎年作成され、『カリキュラム・履修の手引き』に掲載します。『カリキュラム・履修の手引き』は、毎学年度はじめに配布されます。

授業時間割について

卒業所要単位の修得に必要な授業科目を網羅した授業時間割が、毎学年度はじめに編成され告知されます。

授業は前期・後期を通じて月曜日から金曜日の5日間にわたって、5時間制で行われます。授業時間割の中から、各自の年次、選択コースや選択強化プログラムに応じて、授業科目を履修することになります。なお、土曜日、日曜日、祝日、長期休業中であっても、授業や実習、集中講義が開講される場合があります。

授業時間は次の通りです。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:10~10:40	10:50~12:20	13:10~14:40	14:50~16:20	16:30~18:00

授業期間の種類について

- 1) 「通年授業」 …1年間を通じて開講される授業
- 2) 「半期授業」 …前期または後期に開講される授業
- 3) 「隔週授業」 …1週おきに開講される授業
- 4) 「集中講義」 …夏季休業期間（8月～9月）や冬季休業期間（12月～1月）またはそれ以外の期間を利用してまとめて開講される授業
集中講義の日程は、随時、お知らせします。日時に変更があった場合は、WEBポータルサイト・メール(※緊急時のみ)を通じて周知するとともに、掲示板でお知らせします。
- 5) 「隔年授業」 …1年おきに開講される授業

授業に関する留意事項

- 1) いずれの授業も授業回数の5分の4以上の出席が必要です。欠席回数が5分の1を越える者(授業時数が8コマの場合に限り欠席時数が2を超える者)は定期試験受験資格を失うことになります。
- 2) 「公欠」・「忌引」により、やむを得ず授業を欠席する場合は、原則として欠席の理由と期間が記載された書類及び「欠席届（公欠願）」又は「忌引願（届）」をすみやかに事務室（教務課）まで提出してください。「公欠」・「忌引」以外での欠席は理由のいかんにかかわらず欠席となります。
授業を欠席する場合は、事務室に連絡してください(TEL: 089-909-7001)。
* 欠席連絡時の伝達事項
・学籍番号、氏名、欠席の理由（体調不良の場合：体温・症状・通院状況等）
- 3) 電話、メールによる問い合わせ、学生・教員呼び出しには応じません。
- 4) 「特別警報または暴風警報、暴風雪警報」や「交通機関のストライキ」等の場合の授業の取り

扱いについては、『学生便覧』を参照してください。

- 5) 愛媛県中予地域以外に居住の学生も、前項に準じます。
- 6) 公共交通機関の障害で遅刻や受講できなかった場合は、原則として延着証明を持参してください。

公欠

次に該当する事由により授業を欠席し、必要書類を提出した場合には、これを公欠として取り扱います。詳しくは、『学生便覧』の「人間環境大学授業に関する規定」を参照してください。

- 1) 「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」にもとづき裁判員の任務を果たす場合など、公の行事に参加する場合（学部長の承認が必要）
- 2) 「学校保健安全法施行規則」第18条に定められた感染症による社会的影響を考慮して、大学が出校停止を命じた場合（学部長の承認が必要）
- 3) 天災・事故等による公共交通機関の運休又は遅延によって授業を欠席した場合
- 4) 暴風警報、暴風雪警報または特別警報（高潮・波浪は除く）が居住地域で発令され、出校できず授業を欠席した場合
- 5) 忌引きの場合
- 6) 教授会において、上記1)～5)に準じて特段の取り扱いが必要であると認められた場合

*集中講義については、単位認定に必要な授業時間数の関係で公欠扱いとならない場合があるのを注意してください。

*公欠は、授業担当教員からの補講を受講もしくは課題を与えられ、提出することにより、公欠を許可された期間を出席扱いすることができます。

*公欠扱いを受けようとする者は、上記1)、6)の場合は事前に所定の「欠席届（公欠願）」及び期間が明記された「関連の機関からの書類」、2)の場合は所定の「欠席届（公欠願）」及び期間が明記された医師が作成した所定の「治癒証明書」又は「診断書」、3)の場合は所定の「欠席届（公欠願）」及び公共交通機関の「遅延証明書」、4)の場合は所定の「欠席届（公欠願）」を、5)の場合は「忌引願」および葬儀日等が明記された「会葬礼状」等の書類を事務室（教務課）に提出してください。

忌引（「忌引願（届）」は授業の有無に関係なく提出してください）

親族に不幸があったときは、次の基準を限度として忌引きを認めます。基準日数は葬儀の日を含み連続する期間とします。忌引きは公欠として扱います。

1) 配偶者： 夫・妻	10日以内
2) 血 族： 父母、子	7日以内
祖父母・兄弟姉妹	3日以内
曾祖父母・おじ・おば	1日以内
3) 姻 族： 父母	3日以内
祖父母・兄弟姉妹・おじ・おば	1日以内

休講・補講について

担当教員が学会出張や病気などやむを得ない理由で授業を休講にすることがあります。

このような場合には、担当教員から連絡があり次第、掲示などにより連絡しますので注意し

てください。なお、休講となった授業については、これを補うための補講を行います。

* 休講の掲示がなく、授業開始を20分経過しても教員が出講しないときは、必ず事務室（教務課）に連絡して指示を受けてください。

休講などで、授業回数が不足する時などは、補講を実施します。日程はあらかじめ掲示等で発表されるので、履修者は通常の授業と同様に受講してください。

* 補講は、原則、平日の空き時間や5時限終了後、土曜日を利用して実施します。

2 単位制について

単位制

大学における教育課程は、「単位制」を採用しています。

大学設置基準では、「1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とする」と定められています。この45時間には、授業での学習時間と授業外の自習時間の両方が含まれており、本学教育課程では次のように定められています。

◆1単位の学習時間

授業の形態	授業での学習時間	授業外の自習時間	合計
講義・演習	15～30時間	15～30時間	45時間
演習及び実験・演習及び実習	15～30時間	15～30時間	
実験・実習・実技	30～45時間	0～15時間	

本学では、1学年を前期と後期に分け、各学期の授業期間を15週間と定めています。

また、90分の授業を2時間(1コマ)として計算しています。従って、それぞれの授業形態について受講生の1単位あたりの1週間の学習授業は次のようになります。

◆1単位あたりの1週間の学習時間(1学期15週で完結する場合)

授業の形態	授業での学習時間	授業外の自習時間	合計
講義・演習	1～2時間(0.5～1コマ)	1～2時間(0.5～1コマ)	3時間 (1.5コマ)
演習及び実験・演習及び実習	1～2時間(0.5～1コマ)	1～2時間(0.5～1コマ)	
実験・実習・実技	2～3時間(1～1.5コマ)	0～1時間(0～0.5コマ)	

【学習時間の計算例】

たとえば、前期に20単位(講義16単位、実験・実習・実技4単位)を履修登録した場合、前期中に学修すべき時間は、

$$\begin{array}{c} \text{授業での学習時間} \\ \boxed{\text{講義}} \quad \boxed{240\text{時間} (16\text{単位} \times 15\text{時間})} + \boxed{\text{実験・実習・実技}} \quad \boxed{120\text{時間} (4\text{単位} \times 30\text{時間})} \\ + \quad \quad \quad + \\ \text{授業外での自習時間} \\ \boxed{480\text{時間} (16\text{単位} \times 30\text{時間})} + \boxed{60\text{時間} (4\text{単位} \times 15\text{時間})} \\ = 720\text{時間} \\ = 180\text{時間} \end{array}$$

となります。

この場合、授業外の自習時間として540時間の学習が必要となりますので、前期が日曜日・祝祭日も含めて18週間にわたり、126日(7日×18週)あると考えると、1日あたりに授業外で学習すべき平均時間は、

540時間 ÷ 126日 ≈ 4.3時間
となります。

CAP制について

本学では、上記の単位制による1単位を修得するための学習時間をふまえ、1年間に履修登録できる上限単位を「47単位」と定めています。これは、「CAP制」と呼ばれています。

CAP制の設置は、むやみに科目数だけ多く登録しても勉強が追いつかず単位が取得できないようなことが起こらないようにすること、そして個々の科目の消化不良を防ぐことが目的です。計画的な学習活動を行うために、本学の教育課程、卒業所要単位を本誌および『学生便覧』をよく読み理解してください(『学生便覧』の「人間環境大学松山看護学部看護学科教育課程および履修方法に関する規程」第3条(卒業要件)参照)。

また、個々の授業科目の単位数は「第I部 松山看護学部カリキュラム」の「令和4(2022)年度以降入学生用カリキュラム表」で確認してください。

CAP制の緩和

各学年修了時の通算GPA3.0以上かつ必修科目の未修得がない者は、次年度2単位までを追加履修可能として、履修上限を最大49単位とします。

3 学修計画と履修登録について

学修計画

高校の学習では基本的に全員が同じ時間割をこなすのに対し、大学の学修は自らの興味・関心や将来の進路の希望を踏まえて4年間の学修の目標を定め、カリキュラム（大学が学生のために用意した教育メニューのこと）の中から、自分に適した時間割を作らなければなりません。

【学修計画を立てるときの主な材料およびサポート】

- * 『カリキュラム・履修の手引き』（本誌）
- * 「シラバス」：各授業科目の内容が参照できる
- * サポート：各学期当初のオリエンテーション時のガイダンス、メンター教員等による指導・相談等

履修登録とは

履修登録とは、各自が各学期（前期・後期）に履修しようとする授業科目を選択し、毎年度の始めに登録する手続きのことです。『カリキュラム・履修の手引き』「シラバス」他、オリエンテーション時に配布した資料等を参考に、授業の履修計画を立てた上で、WEBポータルサイトにログインし、授業科目を入力することにより登録を行います。

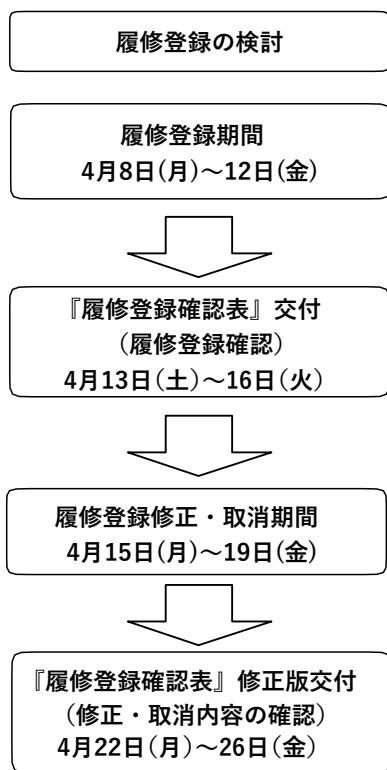
履修登録は、下記の各事項に留意しながら、所定の期間に終了しなければなりません。

- 1) 所定の期日に履修登録を完了しない者は、その学期の授業科目の履修および定期試験の受験は許可されません。
- 2) 所定の履修登録期間後の授業科目の変更・追加等は、原則として認められません。
- 3) 履修登録した授業科目以外の科目を受講することはできません。
- 4) 授業科目によってはクラスを指定する場合があります。指定されたクラスのある場合はその指定に従って履修しなければなりません。
- 5) 履修希望者が定員を超える場合、抽選などの方法で選別を行う場合があります。選抜方法等については、履修登録期間終了後、掲示等にてお知らせします。

* 「シラバス」は、本学サイト（www.uhe.ac.jp）で確認できます。

履修登録の流れ

前期



- 『カリキュラム・履修の手引き』「シラバス」を熟読し、メンター教員に相談しながら履修科目を検討
- 履修登録期間内にWEBポータルサイトにログインし、履修登録を完了させる。

- 前期科目および後期科目両方を登録

* WEBポータルサイトによる履修登録方法
(頁39～)に従って登録してください。

- 履修登録期間以降は、履修登録を行った授業のみに出席

- 履修登録内容の確認

- 履修登録修正・取消期間に登録の修正・削除が可能
- 履修登録修正・取消期間以降は、履修登録を行った授業のみに出席

- 履修登録修正・取消内容の確認

後期



- 後期履修登録内容を、WEBポータルサイトで確認
- 履修登録修正・取消期間に登録の削除が可能
- 履修登録修正・取消期間内にWEBポータルサイトにログインし、履修修正を完了させる。

- 履修登録修正・取消期間以降は、履修登録を行った授業のみに出席

- 履修登録修正・取消内容の確認

履修登録のルール

- 1) 1年間の履修科目として登録できる単位数は47単位を超えることができません（CAP制）。ただし、CAP制の緩和条件を満たす学生については、1年間の履修上限を49単位とします（頁34参照）。
- 2) 授業科目の配当年次について、各自が属する学年より下位の授業を履修することは差しつかえありませんが、各自が属する学年より上位の授業を履修することはできません。
例 *配当年次が1・2年次の授業を3、4年生が履修する場合→可
*配当年次が3・4年次の授業を1、2年生が履修する場合→不可
- 3) 同一名称・同一科目コードの科目は、担当者等が異なっていても重複して履修することはできません。授業コードの上のEから始まる3つのアルファベットと2桁の数字が科目コードです。
- 4) 過年度に単位を修得した同一名称の科目は、担当者等が異なっていても再度履修登録することはできません。
- 5) 同一年度の同一曜日・時限に2科目以上を登録した場合は、登録修正により二重登録状態を解消しなければ両科目的登録とも無効になります。
- 6) 英語I(読解)、英語II(表現活用)などクラスが指定されている場合は、指定クラス以外の授業を登録することはできません。
- 7) 特定の科目に履修希望者が集中した場合、卒業年次生・上級年次生の優先、教室配当の調整、担当教員の手配等措置の結果、次のことが生じる場合があります。予めご了承ください。
 - 1) 担当教員の変更
 - 2) 曜日・時限の変更
 - 3) 希望科目的登録ができない
- 8) 履修者抽選の必要な科目にもかかわらず抽選に参加しなかった場合は、当該年度の履修登録ができません。履修登録時には、抽選の結果通りに正しく登録してください。抽選後の変更是できません。
- 9) 履修希望者が少数の場合は不開講となる場合があります。資格に関する科目についてはこの限りではありません。
- 10) 授業科目によっては、「Bを履修するためにはAを履修すること」「Iを履修した後IIを履修すること」といった履修条件を課している場合があるので、「第I部 松山看護学部カリキュラム」、「シラバス」でよく確認してください。実習科目については、「臨地・臨床実習に関する履修要件」（頁48～参照）をよく確認してください。
- 11) 登録許可の通知は行いません。不許可の科目のみ掲示などにより連絡します。
不許可の場合
 - *履修登録のルールに違反している場合
 - *開講予定科目がやむを得ない理由で、不開講となる場合
- 12) 別途、実習費、教材費が必要な科目で所定の期日までに納入がない場合は、その科目的履修登録は無効となり、履修登録は削除されます。
- 13) WEBポータル登録時の操作ミス、登録期限の遅延などから生ずる不利益は本人の責任となります。

履修登録を修正する際のルール

- 1) 「履修登録確認表」に履修登録エラーがある場合、科目の削除手続きが必要です。
- 2) 指定クラスの変更はできません。
- 3) 履修登録修正期間後の修正には一切応じられません。
- 4) 履修登録修正期間に修正を行わなかった授業については、交付された履修登録確認表に記載されている通り履修登録が完了したことになります。

履修登録取消制度

履修登録取消制度は、履修登録完了後、履修登録した科目を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの

- 1) 授業の内容が自分の勉強したいものと違っていた。
- 2) 授業に対する知識が不足していることに気付いた。
- 3) 履修科目数を減らしたい。

などといった理由から履修を取り消すことができる制度です。履修を取り消すためには、履修登録の流れ（頁36）の履修登録修正・取消期間内にWEBポータルサイトにログインして、履修取消を完了させる必要があります。

この期間内に手続きを行った科目は、履修登録制限単位及びGPA(GPAについては後述)の算入対象とはなりません。

* 通年科目は前期履修取り消し期間中にのみ取り消すことができます。

教科書について

履修登録する授業の教科書は、必ず購入してください。

必修科目で指定されている教科書は、教科書の申込期間内にWebより購入手続き（住所登録など）を行ってください。購入した教科書は、自宅に配送されます。教科書代金の支払いは、各自で責任を持って行ってください。購入手続き等に関しては、オリエンテーション、もしくは掲示等で周知します。

選択科目の教科書は、履修登録期間中（修正・取消期間を含む）に学内販売日を設けて販売します。自分の選択した授業の教科書を購入してください。

* 教科書の出版時期等により申込期間に販売が間に合わない場合は、別途日を設けて販売します。

* 科目間で重複する教科書に関しては、複数冊購入する必要はありません。

* 下級年次配当科目を履修、再履修する学生は、自分で教科書を確認して購入してください
(前年度と同じ教科書であれば、購入する必要はありません)。

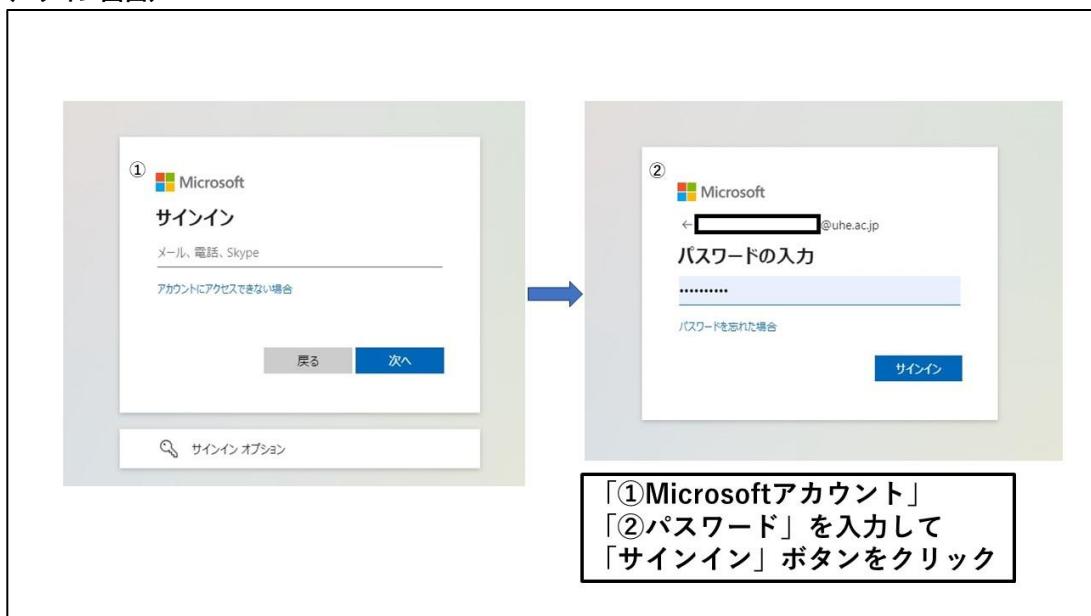
WEBポータルサイトによる掲示連絡確認・履修登録方法

WEBポータルサイトのURL「<https://irweb.kawahara.ac.jp/uhe/>」にブラウザ（Google Chrome）を使ってアクセスしてください。

履修登録を行う際は、必ずパソコンで[Google Chrome]から登録を行ってください。
＊スマートフォン、タブレットは動作保証していません。

ログイン方法

(ログイン画面)



1) 掲示連絡確認方法

(トップ画面)

ログインに成功すると自分の
氏名が表示されています。

曜日毎に履修登録している
科目が表示されています。

- ①左側にあるメニューから、確認したい掲示内容のボタンをクリックします。
「個人へのお知らせ」…学生個人宛の連絡事項はここをクリックしてください。
「連絡事項」…全体への連絡事項はここをクリックしてください。
「授業関連」…休講・補講の情報はここをクリックしてください。

(掲示板画面)

The screenshot shows the 'Announcement Board' page of the Human Environment University portal. The search results for '休講' (Lecture Suspension) show one entry: 'BB0305 英語Ⅱ' (English II). The details are: Period: 后期 (Postponed), Instructor: Lisa D. Mandziak, Room: 水1階 (Ground Floor Water), Start Date: 2015/09/03, End Date: 2015/09/23. A large circled '1' is placed over the search results area. A callout box contains the following text:

①確認したい内容について、青字部分(タイトル、授業名)をクリックします。
*上下の図は、授業関連(休講・補講)を確認する場合の例

(掲示板画面)

The screenshot shows the 'Announcement Board' page of the Human Environment University portal. The search results for '休講' (Lecture Suspension) show one entry: 'BB0305 英語Ⅱ'. The details are: Period: 后期 (Postponed), Instructor: Lisa D. Mandziak. To the right, a detailed view of the announcement content is displayed in a sidebar:

掲示内容
○ 掲示者
教務
○ 期間
2015/09/03 (木) ~ 2015/09/23 (水)
○ 休講
休講
○ 授業名
BB0305/ 英語Ⅱ/ Lisa D. Mandziak
○ 詳細
日付 | 時間 教室
2015/09/23 (水) 1階
○ 添足
Lisa

掲示内容の詳細が、ページ右側に表示されます。

2) 履修登録方法

(履修登録画面)

株式会社 サーブネット
WEBポータルサイト(Sample)

TOP 報示板 履修登録 就職活動 学内SNS アンケート eラーニング ログアウト

掲示板

学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
①授業関連
履修情報
履修登録

履修登録

曜日選択する

	前期	後期	火	水	木	金
1限	10501 造形図法 教員 太郎 本-31	10251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザインI テスト 花子 4-11	10403 原典講読 教員 太郎 本-33	10121 知的財産法B テスト 太郎 本-31	
2限	10471 色彩特論 教員 太郎 本-31	③ 0251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザインI テスト 花子 4-11	10561 デザイン特論 テスト 教員 本-33	10101 法学特論 テスト 太郎 本-32	
3限	20082 美術研究-(Web) 横浜 次郎 本-34			10271 造形表現(彫刻A) テスト 教員 6A-21	10241 造形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14	
4限	20082 美術研究-(Web) 横浜 次郎 本-34	10691 西洋美術史特論 山田 花子 本-33	10421 環境科学 テスト 太郎 本-31	10271 造形表現(彫刻B) テスト 教員 6A-21	10241 造形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14	
5限	10152 体育 テスト 太郎 5-11			10591 漢画論 横浜 次郎 本-31	10131 歴史概論 テスト 太郎 本-32	

▼時間割外の授業

授業CD 授業名
10301 コンピューター基礎
10361 ウェブデザイン
10440 ボランティア活動
10581 絵本論
10761 ビジュアルコミュニケーション
20062 美術リサーチ

①左側にあるメニューから「履修登録」をクリックします。
 ②登録したい期間を選択します。
 ③登録したい曜日時限の をクリックします。
 * ボタンがない曜日時限については登録の変更をすることはできません。

(履修登録画面)

株式会社 サーブネット
WEBポータルサイト(Sample)

TOP 報示板 履修登録 就職活動 学内SNS アンケート eラーニング ログアウト

掲示板

学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
授業関連
履修情報
履修登録

履修登録

曜日選択する

	前期	後期	月
1限	10501 造形図法 教員 太郎 本-31	10251 造形表現 テスト 太郎	10251 造形表現 テスト 太郎
2限	10471 色彩特論 教員 太郎 本-31		① 10251 造形表現 テスト 太郎
3限	20082 美術研究-(Web) 横浜 次郎 本-34		
4限	20082 美術研究-(Web) 横浜 次郎 本-34	10691 西洋美術史特論 山田 花子 本-33	
5限	10152 体育 テスト 太郎 5-11		

▼時間割外の授業

授業CD 授業名
10301 コンピューター基礎
10361 ウェブデザイン
10440 ボランティア活動
10581 絵本論
10761 ビジュアルコミュニケーション
20062 美術リサーチ

前記/水/1限

選択	授業CD	授業名	期間	実施期	単位	主担当教員名	曜日時限
<input type="checkbox"/>	10201	造形表現(彫刻A)	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10211	造形表現(彫刻B)	前期	前期	2	山田 太郎	水1限/水2限
<input checked="" type="checkbox"/>	10242	ウェブデザインI	前期	前期	2	テスト 花子	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10391	3D表現	前期	前期	2	山田 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10741	絵画	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10751	工芸	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10752	工芸	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限

①クリックした曜日時限に行われる授業の一覧がページ右側に表示されます。
 * 取得済み科目は表示されません。

②「授業CD」をクリックするとシラバスが表示されますので、履修登録時の参考にしてください。

(履修登録画面)

株式会社 サーフネット
WEBポータルサイト(Sample)

TOP | 報示板 | 履修登録 | 就職活動 | 学内SNS | アンケート | eラーニング | ログアウト | スクロールTOP▲

掲示板

- 学年暦
- 個人へのお知らせ
- 連絡事項
- 授業開連
- 履修情報**
- 履修登録

履修登録

要件を確認する

前期	後期
月	
1限	10501 造形図法 教員 太郎 本-31
2限	10471 色彩特論 教員 太郎 本-31
3限	20082 美術明か-(W e b) 横浜 次郎 本-34
4限	20082 美術明か-(W e b) 横浜 次郎 本-34
5限	10152 体育 テスト 太郎 5-11

時間割外の授業

授業CD	授業名
10301	コンピュータ概論
10361	ウェブデ
10440	ボランテ
10581	絵本論
10761	ビジュアル
20062	美術リ

前略/水/1限

選択	授業CD	授業名	期間	実施期	単位	主担当教員名	曜日時限
<input type="checkbox"/>	10201	造形表現(彫刻A)	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10211	造形表現(彫刻B)	前期	前期	2	山田 大郎	水1限/水2限
<input checked="" type="checkbox"/>	10342	ウェブデザイン I	前期	前期	2	テスト 花子	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10391	3D表現	前期	前期	2	山田 大郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10741	絵画	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10751	工芸	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限
<input type="checkbox"/>	10752	工芸	前期	前期	2	テスト 太郎	水1限/水2限

①登録したい授業にチェックを入れます。

②更新ボタンをクリックします。

(2) [更新する] [閉じる]

(履修登録画面)

株式会社 サーフネット
WEBポータルサイト(Sample)

TOP | 報示板 | 履修登録 | 就職活動 | 学内SNS | アンケート | eラーニング | ログアウト | 印刷する

掲示板

- 学年暦
- 個人へのお知らせ
- 連絡事項
- 授業開連
- 履修情報**
- 履修登録

履修登録

要件を確認する

前期	後期				
月	火 水 木 金				
1限	10501 造形図法 教員 太郎 本-31	10251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザイン I テスト 花子 4-11	10403 原典講談 教員 太郎 本-33	10121 知的財産法B テスト 太郎 本-31
2限	10342 ウェブデザイン I テスト 花子 4-11	10251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザイン I テスト 花子 4-11	10561 デザイン特論 テスト 教員 本-33	10101 法学特論 テスト 太郎 本-32
3限	20082 美術明か-(W e b) 横浜 次郎 本-34			10271 造形表現(デザインB) テスト 教員 6A-21	10241 造形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14
4限	20082 美術明か-(W e b) 横浜 次郎 本-34	10691 西洋美術史特論 山田 花子 本-33	10421 環境科学 テスト 太郎 本-31	10271 造形表現(デザインB) テスト 教員 6A-21	10241 造形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14
5限	10152 体育 テスト 太郎 5-11			10591 漢画論 横浜 次郎 本-31	10131 歴史学概論 テスト 太郎 本-32

時間割外の授業

授業CD	授業名	期間	単位	主担当教員名	曜日時限
10301	コンピュータ概論	前期	2	テスト 花子	木/3限
10361	ウェブデ				
10440	ボランテ				
10581	絵本論				
10761	ビジュアル				
20062	美術リ				

選択した授業が時間割に登録されます。

<履修登録時のエラーメッセージについて>

No	エラーメッセージ	対処方法
1	上限単位を超えてます。	登録されている単位数の合計が上限単位数を超えています。 他の授業の取り消しを行ってから再度登録を行ってください。
2	既に登録されている科目です。	登録されている授業の中に同じ科目的授業が含まれています。 該当する授業の取消を行ってから再度登録を行ってください。
3	曜日時限が重複しています。	登録されている、または登録しようとしている授業の中で曜日時限が重複しています。 該当する授業の取消を行ってから再度登録を行ってください。
4	所属が異なるため登録できません。	登録することはできません。
5	登録に必要な科目が取得されていません。	登録することはできません。
6	取消のみ許可されている授業です。	登録することはできません。

3) 印刷方法

(履修登録画面)



株式会社 サーブネット
WEBポータルサイト(Sample)

TOP | 揭示板 | 履修登録 | 就職活動 | 学内SNS | アンケート | eラーニング | ログアウト |

掲示板

学年暦

個人へのお知らせ

連絡事項

授業関連

履修情報

履修登録

履修登録

要件を確認する

前期 後期

月 火 水 木

(1) 印刷する 全

1限	10501 演形回法 教員 太郎 本-31	10251 演形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザイン I テスト 花子 4-11	10403 原典講読 教員 太郎 本-33	10121 知的財産法 B テスト 太郎 本-31
2限	10471 色彩特論 教員 太郎 本-31	10251 演形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザイン I テスト 花子 4-11	10561 デザイン特論 テスト 教員 本-33	10101 法学特論 テスト 太郎 本-32
3限	20082 美術明かり-(W e b) 横浜 次郎 本-34			10271 演形表現(3DガラスB) テスト 教員 6A-21	10241 演形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14
4限	20082 美術明かり-(W e b) 横浜 次郎 本-34	10691 西洋美術史特論 山田 花子 本-33	10421 環境科学 テスト 太郎 本-31	10271 演形表現(3DガラスB) テスト 教員 6A-21	10241 演形表現(工芸A) 山田 太郎 6A-14
5限	10152 体育 テスト 太郎 5-11			10591 漫画論 横浜 次郎 本-31	10131 歴史学概論 テスト 太郎 本-32

▼時間割外の授業

授業CD/授業名	期間	単位	主担当教員名	曜日時限
10301 コンピュータ編集	前期	2	テスト 花子	木/3限
10361 ウェブデザイン演習	前期	2	テスト 太郎	月/1限/月/2限
10440 ボランティア講座	通年	2	テスト 太郎	水/5限
10581 絵本論	前期	2	教員 よし子	金/5限
10761 ビジュアルデザイン	前期	2	テスト 太郎	水/1限/水/2限
20062 美術明かり-(デジタル)	前期	2	横浜 花子	火/1限/火/2限

①登録内容を印刷する場合、「印刷する」をクリックします。

(印刷用ページ)

【履修登録印刷用ページ】 学籍番号/氏名: AAA001/東京 ○○ 日時: 2015/08/03 20:31:48					
【前期】					
1限	月	火	水	木	金
	10501 造形図法 教員 太郎 本-31	10251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザインI テスト 花子 4-11	10451 美学概論 横浜 花子 本-31	10121 知的財産法B テスト 太郎 本-31
2限	10471 色彩特論 教員 太郎 本-31	10251 造形表現(工芸B) テスト 太郎 6A-13	10342 ウェブデザインI テスト 花子 4-11	10561 デザイン特論 テスト 教員 本-33	10101 法学特論 テスト 太郎 本-32
	【後期】				
3限	月	火	水	木	金
	20082 美術 横浜 次郎	20040 美術ワクタ- (工芸) 山田 太郎 6A-14	10413 教養演習 テスト 太郎 本-32	10392 3D表現 山田 太郎 1-33	10492 造形美術論 II 山田 太郎 本-31
4限	20082 美術 横浜 次郎	20040 美術ワクタ- (工芸) 山田 太郎 6A-14	10682 西洋美術史 II 山田 花子 本-33	10392 3D表現 山田 太郎 1-33	10142 経済学 テスト 太郎 5-11
	10152 体育 テスト 太郎	10202 造形 山田 太郎			10092 日本国憲法 テスト 太郎 本-32
▼時間割外の授業CD 授業名					
10301 コンピ					
10361 ウエブ					
10440 ポラン					
10581 絵本論					
10761 ビジュ					
20062 美術ワク					
▼時間割外の授業CD 授業名					
10440 ポラン					
30062 絵画 II					
【卒業要件】					
3限	分野区分	要件単位	修得単位	不定単位	申請単位
	初年次合計	2	2		
4限	人文合計	4	4		
	社会歴史合計	4		10	
5限	体育合計	0		2	
	外国語合計	2	2		
6限	造形メディア	4		4	
	造形合計	0	4	10	
7限	メディア合計	0		8	
	総合合計	4		6	
8限	美術理論合計	6	20		16
	美術史合計	4	4		4
9限	造形実習合計	2		2	
	単位互換	0			
10限	共通科目合計	60	36		58
	美術リテ合計	10	10		6
11限	専門領域合計	46	30	8	8
	専門卒業制作	8		8	
12限	専門科目合計	64	40	10	14
	卒業要件合計	124	76		72
13限	教職課程科目	0	8		
	総合計	0	80		72

印刷プレビューが表示されるので、ブラウザより印刷してください。

4 履修方法について

松山看護学部では、看護師国家試験受験資格取得および保健師国家試験受験資格取得のために科目を設定しています。ほとんどの科目が必修科目あるいは選択必修科目となります。履修すべき年次に、必ず単位を修得してください。不合格となった授業科目を、他の年次に履修することは、極めて困難です。

その他、選択強化プログラムとして、4つのプログラムがあります。保健師コース、選択強化プログラムの希望に関しては、メンター教員とよく相談してください。

1) 看護師基本コース

看護師基本コースは、看護師国家試験受験資格取得に必要なコースです。ここでは、22単位以上を基礎科目群、27単位以上を専門基礎科目群、79単位以上を専門科目群、2単位以上を基礎科目群以外の選択科目から履修し、合計130単位修得することで、看護師国家試験受験資格が得られます。

2) 保健師コース

保健師コースは、看護師基本コースで必要な単位に加えて、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目と単位を修得します。保健師コースは、2年次後期終了時に選考要件をもって、20名の選考を行います。ただし、1年次の科目から保健師コースに必要な科目を設定していますので、希望者は、履修モデルを参照し、必ず履修・単位修得してください。保健師に必要な科目の成績が、選考の際には重要になります。

保健師選択必修科目

授業科目	単位数	配当年次	開講区分
家族社会学	2	1	後期
人権擁護と成年後見制度	1	3	前期
国際看護学III	2	3	前期
公衆衛生看護援助論 I	2	2	後期
公衆衛生看護援助論 II	2	3	前期
公衆衛生看護援助論III	2	4	前期
公衆衛生看護援助論IV	2	4	後期
公衆衛生看護学実習 I	3	4	前期
公衆衛生看護学実習 II	2	4	後期

3) 選択強化プログラム

選択強化プログラムは、(1)小児看護、(2)がん看護、(3)認知症看護、(4)在宅・終末期看護の4つです。2年次後期終了時に希望者から選抜を行います。2年生の科目から選択必修科目があります。希望者は、履修モデルを参照し、必ず履修・単位修得してください。

5 保健師コース、選択強化プログラムの選考について

コース	選択時期	定 員	選抜方法
保健師コース	2年次後期終了時	20名	2年後期までの累積GPA値2.7以上 小論文 面接
選択強化プログラム	小児看護	10名以内	小論文 面接
	がん看護	15名以内	
	認知症看護	20名以内	
	在宅・終末期看護	15名以内	

※保健師コースについては、2年後期までの必修科目および選択必修科目の未履修科目がないこと。

6 コースおよび選択強化プログラムの必修科目と卒業時に必要な単位数

卒業に必要な単位数は、130単位以上で、次の表のとおりです。保健師コース、および選択強化プログラムの単位数は、130単位を超えていて、それぞれのコースまたは選択強化プログラムを履修する場合、注意が必要です。

詳細については、下記コース・選択強化プログラムの表および「第Ⅰ部 松山看護学部カリキュラム」、「シラバス」を参照してください。

看護師基本コース

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		
専門基礎科目	必修科目		
専門科目	講義・演習必修科目		
	実習必修科目		
選択	専門基礎科目の選択科目		
	専門科目の選択科目		
合計		130	

保健師コース

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		
専門基礎科目	必修科目		
	人権擁護と成年後見制度（1）		
	講義・演習必修科目		
	実習必修科目		
専門科目	公衆衛生看護援助論I（2） 公衆衛生看護援助論II（2） 公衆衛生看護援助論III（2） 公衆衛生看護援助論IV（2） 公衆衛生看護学実習I（3） 公衆衛生看護学実習II（2） 国際看護学III（2）		
	選択		
	専門基礎科目の選択科目		
	専門科目の選択科目		
合計		145	

小児看護選択強化プログラム

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		6
専門基礎科目		必修科目 臨床心理学（1） カウンセリング（1）	27 2 2
専門科目		講義・演習必修科目 実習必修科目	56 23
小児看護選択強化プログラム指定科目		小児看護援助論III（1） 小児看護技術論（1） 小児看護演習（1） ストレスマネジメント論（1） 痛みの看護論（1）	5
合計			135

がん看護選択強化プログラム

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		6
専門基礎科目		必修科目 臨床心理学（1） カウンセリング（1）	27 2 2
専門科目		講義・演習必修科目 実習必修科目	56 23
がん看護選択強化プログラム指定科目		がん看護援助論（1） がん看護技術論（1） がん看護演習（1） 緩和ケア論（1） 痛みの看護論（1）	5
合計			135

認知症看護選択強化プログラム

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		6
専門基礎科目		必修科目 老年疾病治療論（1） 臨床心理学（1）	27 2 2
専門科目		講義・演習必修科目 実習必修科目	56 23
認知症看護選択強化プログラム指定科目		組織とリーダーシップ論（1） 認知症看護援助論（1） 認知症看護技術論（1） 認知症看護演習（1） 痛みの看護論（1）	5
合計			135

在宅・終末期看護選択強化プログラム

基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール（2） 人間環境学（2） 医療キャリアの基礎（1）	5
	コミュニケーションの基礎	英語I（読解）（2） 英語II（表現活用）（2） コンピュータ基礎・情報処理法（1）	5
	人間と生活の理解	日本国憲法（2） 人間関係論（1） 生命倫理学（1） 社会保障論（2）	6
	基礎科目の選択科目		6
専門基礎科目		必修科目 老年疾病治療論（1） カウンセリング（1） 医療経営論（1）	27 2 3
専門科目		講義・演習必修科目 実習必修科目	56 23
在宅・終末期看護選択強化プログラム指定科目		在宅・終末期看護援助論（1） 在宅・終末期看護技術論（1） 在宅・終末期看護演習（1） 緩和ケア論（1）	4
合計			135

7 臨地実習について

臨地実習に関する履修要件

松山看護学部看護学科の臨地実習は、各実習の履修要件を満たした場合に限り履修できます。
臨地実習(必修科目)の履修要件は、以下のとおりです。

令和4年度以降入学生適用

実習科目	配当年次	開講区分	履修要件
基礎看護学実習 I	1	前期	「看護学原論 I」の単位修得見込みであること。
地域・在宅看護学実習 I	1	後期	「看護学原論 I」の単位修得見込みであること。
地域・在宅看護学実習 II	2	前期	「看護学原論 I」「地域・在宅看護学概論」「高齢者看護学概論」の単位修得見込みであること。
基礎看護学実習 II	2	後期	「看護学原論 I」「基礎看護学実習 I」「生活援助方法論」「生活援助方法演習」「診療援助方法論」「診療援助方法演習」「看護コミュニケーション論」「看護過程」の単位を修得しており、「フィジカルアセスメント」の単位修得見込みであること。
小児看護学実習	3	後期	「小児看護学概論」「小児看護援助論 I・II」の単位を修得していること。 下記すべての条件を満たしていること。 ①「基礎看護学実習 II」の単位を修得していること。
母性看護学実習	3	後期	「母性看護学概論」「母性看護援助論 I・II」の単位を修得していること。 ②1年から3年前期までの専門基礎科目的うち、「人体の構造と機能」「疾病の治療と回復促進」の必修科目すべての単位を修得していること。
成人看護学実習	3	後期	「成人看護学概論」「成人看護援助論 I」「成人急性期看護援助論 II」「成人慢性期看護援助論 II」の単位を修得していること。 ③1年から3年前期までの専門基礎科目のうち、「健康と生活支援」必修6科目のうち、5科目の単位を修得していること。
高齢者看護学実習	3	後期	「高齢者看護学概論」「高齢者看護援助論 I・II」の単位を修得していること。 ④1年から3年前期までの専門科目35科目のうち、32科目の単位を修得していること。
地域・在宅看護学実習 III	4	前期	「地域・在宅看護学概論」「地域・在宅看護援助論 I・II」の単位を修得していること。
精神看護学実習	4	前期	「精神保健看護学概論」「精神看護援助論 I・II」の単位を修得していること。
統合実習	4	前期	3年後期の領域実習の単位を修得し、4年前期に「精神看護学実習」「地域・在宅看護学実習 III」を単位修得見込みであること。
公衆衛生看護学実習 I	4	前期	「公衆衛生看護援助論 I・II」の単位を修得しており、「公衆衛生看護援助論 III・IV」の単位修得見込みであること。
公衆衛生看護学実習 II	4	後期	

臨地実習の進行について

臨地実習は、以下のように1年次から系統立てて行い、学内の講義や演習で学んだ専門知識や技術及び体験を自ら活用し、臨床の場で実践し、知識と実践を統合させることを目的に行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次					↔		↔					
					基礎看護学実習Ⅰ(1週間)		地域・在宅看護学実習Ⅰ(1週間)					
2年次					↔		地域・在宅看護学実習Ⅱ(1週間)			↔		基礎看護学実習Ⅱ(2週間)
3年次						←→	小児(2週間)・母性(2週間)・成人(4週間)・高齢者看護学実習(4週間)					
4年次 必修	←→	精神(2週間)	地域・在宅看護学実習Ⅲ(2週間)		↔	統合実習(2週間)						
4年次 選択				←→	公衆衛生看護学実習Ⅰ(3週間)	↔	公衆衛生看護学実習Ⅱ(2週間)					

*追実習料が発生する場合があります。

8 試験について

試験には、定期試験・追試験・再試験があります。また、試験に代わるものとしてレポートが課せられる場合もあります。

定期試験

定期試験は、前期、後期それぞれ松山看護学部年間行事予定表で定める定期試験期間に行われます。

平常授業と教室・時限が異なることがありますので、定期試験初日の1週間前までに告知される試験時間割には十分注意してください。

同一科目で複数クラスがある場合は、履修登録したクラスの試験を受験しなければなりません。

受験資格

次のいずれかに該当する者は受験資格がありません。

- 1) 欠席時数が授業時間数の5分の1を超える者
- 2) 授業料等納付金を納付していない者
- 3) 履修登録をしていない者
- 4) 履修途中で受講を辞退した者
- 5) 実習科目の出席時数が所定の実習時数の5分の4に満たない者
- 6) 出席確認において不正行為を行った者

*試験受験後に上記事項に該当することが判明した場合、当該科目の成績は判定しません。

受験上の注意

学生証を持参していない場合は、受験できません。その他受験上の注意事項は、『学生便覧』の「人間環境大学松山看護学部看護学科教育課程および履修方法に関する規程」および「試験内規」をよく読んで、必ず確認しておいてください。

試験当日に学生証を忘れた者は、試験前に事務室（教務課）で仮学生証を発行してもらってください。

追試験

病気や忌引き、交通機関の不通など、以下に示すやむを得ない理由で定期試験を受験できなかった者が、指定された期日までに「追試験願」を提出し、許可された場合に実施される試験です。

- 1) 暴風、大雨その他災害により受験することができなかった場合
- 2) 交通機関の不通、又は延着による場合
- 3) 傷病により受験できない場合
- 4) 忌引の場合
- 5) 公式（頁32）、又はそれに準じる場合
- 6) 特別の事情がある場合で、教授会で承認された場合

* 医師の診断書、交通機関の延着証明など、その日時に受験が困難であった理由が分かる証明書類が必要です。

* 追試験には所定の受験料（1科目1,000円）が必要となります。追試験による成績は90点（S評価）を最高とします。

* 追試験受験時には、追試験受験が許可されたことを証明するために、受験料納付時に発行された「追試験許可証」の提示が必要です。

再試験

再試験とは、定期試験もしくは追試験を受験して不合格となった者のうち、指定された期日までに「再試験願」を提出し、補講等を受けて許可された場合に受験することができる試験です。

定期試験もしくは追試験を受験して不合格となった科目は、原則再試験の対象科目となります。

* 再試験には所定の受験料（1科目2,000円）が必要となります。再試験による成績は60点（C評価）を最高とします。

* 再試験受験時には、再試験受験が許可されたことを証明するために、受験料納付時に発行された「再試験許可証」の提示が必要です。

9 成績評価について

成績評価基準

成績の評価は、定期試験、レポートなどによって授業科目ごとに行われます。成績評価基準は次の通りで、成績の評価は評語で通知されます。

評価点	合否等	評語	GP	評価基準
100~90点	合格	S	4.0	学習目標をほぼ完全に達成している(Excellent)
89~80点		A	3.0	学習目標を相応に達成している(Very Good)
79~70点		B	2.0	学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある(Good)
69~60点		C	1.0	学習目標の最低限は満たしている(Pass)
59点以下	不合格	D	0	学習目標の最低限を満たしていない(Failure)
試験欠席		E	0	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない(Withdrawal)
授業放棄		F	0	出席不足等により成績評価要件を満たしていない(Withdrawal)
認定	認定	N	—	本学以外で修得したもので本学が単位認定したものの(Credit given under Credit provision)

成績の発表

履修した授業科目の成績は、「人間環境大学 松山看護学部 年間行事予定表」に記載されている成績発表日に、ポータルサイトで確認できます。また、成績発表日以降に、「学業成績通知書」を配布します。

成績疑義に関する問い合わせ

成績に関する疑義が生じた場合、成績疑義申出期間内（成績発表後、土日祝を除く原則3日以内）であれば、事務室（教務課）にある「成績疑義申出書」にて申し出ることができます。それ以降の質問は受け付けません。

GPA(Grade Point Average)制度

GPA(Grade Point Average)制度は、成績評価に用いられた成績に対応したGrade Point(GP)を用い、履修した科目成績の平均値を出すものであり、アメリカの大学で一般的に行われている世界に通用する成績評価のシステムです。

このGPA制度は、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的として導入しています。また、GPAは卒業までの様々な選考の判断基準となるので、自身のGPAを常に意識し、学修計画を立ててください。

GPAの算出方法

履修登録した科目ごとの5段階評価を、4から0までのGPに置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割って算出します。

$$GPA = \frac{(4.0 \times S\text{の単位数}) + (3.0 \times A\text{の単位数}) + (2.0 \times B\text{の単位数}) + (1.0 \times C\text{の単位数})}{\text{履修登録単位数}}$$

(GPAの実際の計算例)

科目名	単位数(a)	評価点	評語	GP(b)	a × b
○○○○学	2	92	S	4.0	8
○○論講義 I	2	85	A	3.0	6
○○論講義 II	2	55	D	0	0
□□学研究 I	2	70	B	2.0	4
□□学研究 II	2	62	C	1.0	2
△△基礎実習	4	80	A	3.0	12
合計	14			32	

* 計算式の分母には不合格科目を含め、履修登録した全ての科目の合計単位数であることに注意してください。

上記の学生の場合、

履修登録した授業科目の単位数の合計 = 14

(履修登録した授業科目の単位数 × 当該授業科目のGP) の合計 = 32

$$GPA = \frac{32}{14} = 2.29$$

GPAの算定対象とならない科目

- * 成績の評価点が認定となる科目（単位互換履修科目等）
- * 定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- * その他、卒業要件に算入されない科目

学業成績通知書・成績証明書への記載内容

学業成績通知書には、履修科目全ての素点および評価（S・A・B・C・D・E・F・N）とGPAが記載されます。GPAは、学期毎のGPAと通算GPAの両方が記載されます。

成績証明書には、合格科目について評価のみが記載されます。

GPAによる学生へのフォローアップ

各学期終了時のGPA値2.0未満者にはメンター教員が注意と指導を行い、2期連続して1.0未満で注意喚起後も改善が見られない場合は、学部長より退学勧告を視野に入れた指導を行います。

10 卒業資格、学位について

本学は、看護師に加えて、複数の資格や多彩なプログラムがあります。全ての資格やプログラムの基本は、看護師基本コースです。「6. コースおよび選択強化プログラムの必修科目と卒業時に必要な単位数」（頁46～）の「看護師基本コース」に基づいて必要な科目を履修し、休学期間を除いて、4年以上在学し、「教育課程および履修方法に関する規程」第3条（『学生便覧』参照）に定める所定の単位数を修得した者については教授会の議を経て、学長が卒業を認定します。

なお、卒業が認定された者には、「学士（看護学）」の学位が与えられます。

【卒業時に取得できる資格】

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格（保健師コース修了者）

【保健師免許取得後、申請により取得できる免許状】

養護教諭二種免許

* 養護教諭二種免許取得を希望する場合、免許法施行規則第66条の6に定める科目的単位修得が必要です。

免許法施行規則第66条の6に定める必要単位数と本学部該当科目

免許法に定める科目区分	単位数	本学部該当科目	単位数
日本国憲法	2	日本国憲法	2
外国語コミュニケーション	2	英語 I（読解）	2
体育	2	フィットネススポーツ	1
		体育実技	1
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	コンピュータ基礎・情報処理法	1
		保健看護情報学	1

4つの選択強化プログラムは、本学独自のプログラムであり、将来これらの専門領域での看護を目指す人に、より専門的な学びを大学でできるよう配慮したものです。卒業時の資格や学位は、看護師基本コースと同じです。

第III部

松山キャンパス施設図

校舎案内図



:AED



:消火器

:消火栓

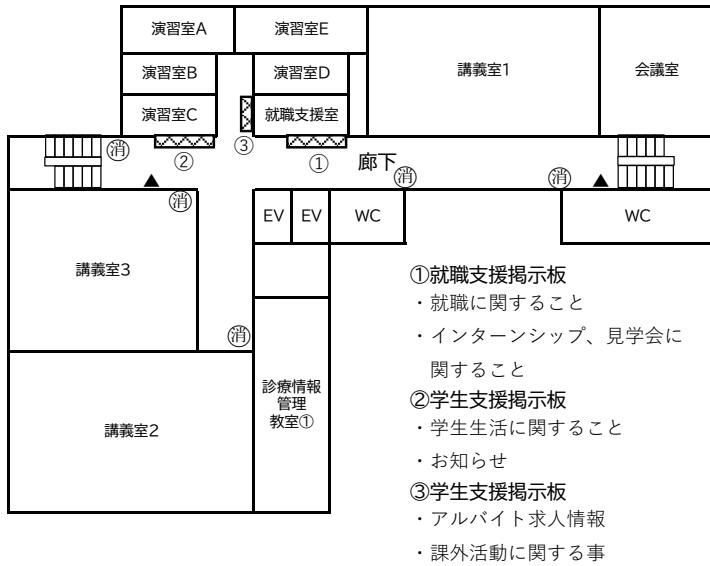


:掲示板

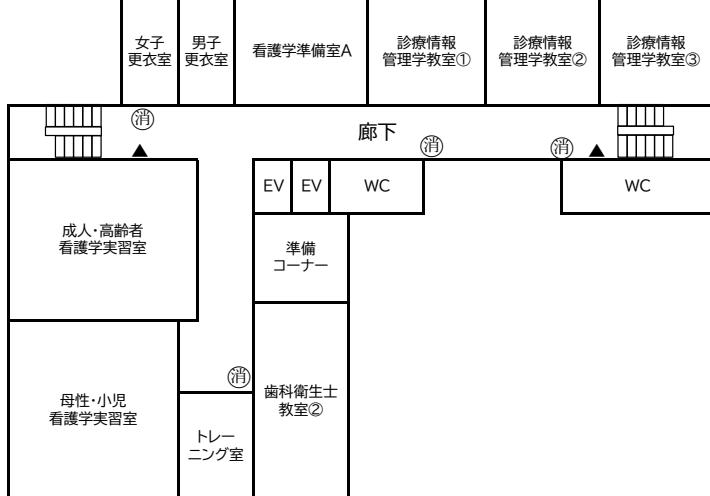
1F



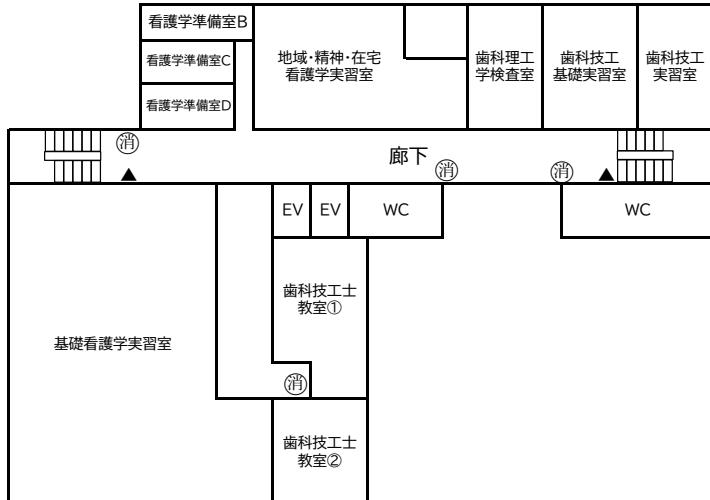
4F



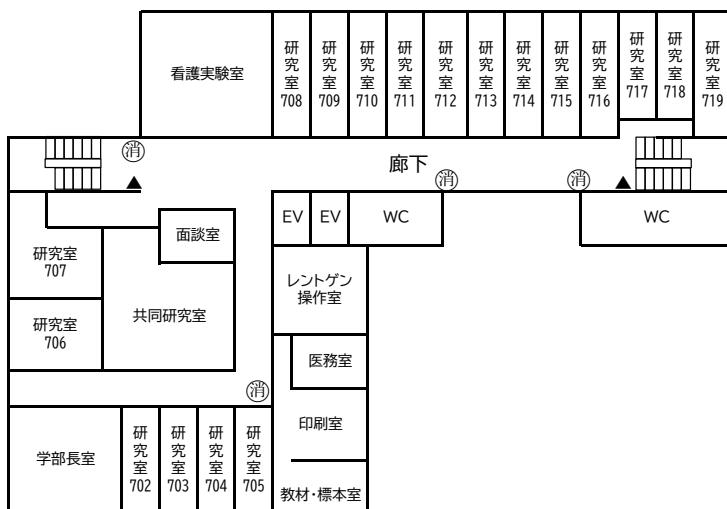
5F



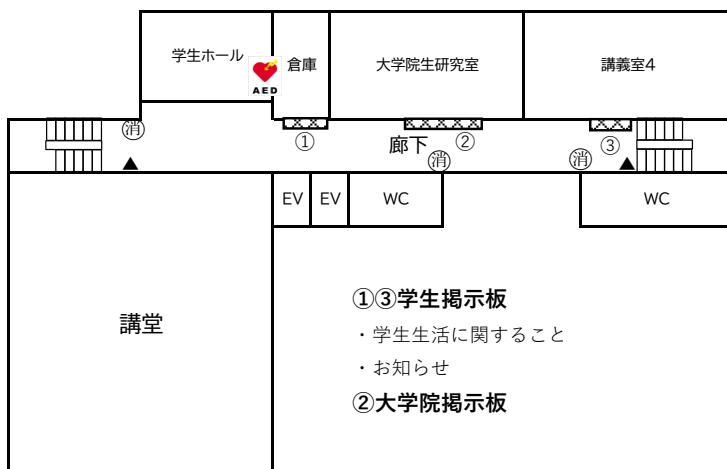
6F



7F



8F



RF

屋上には、カフェ・スペース（学生ホール）があります。

校舎案内図



:AED



:消火器



:消火栓

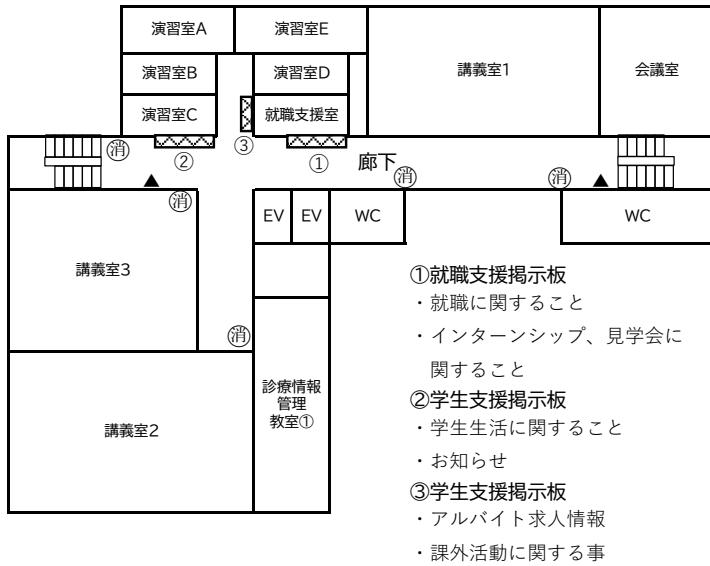


:掲示板

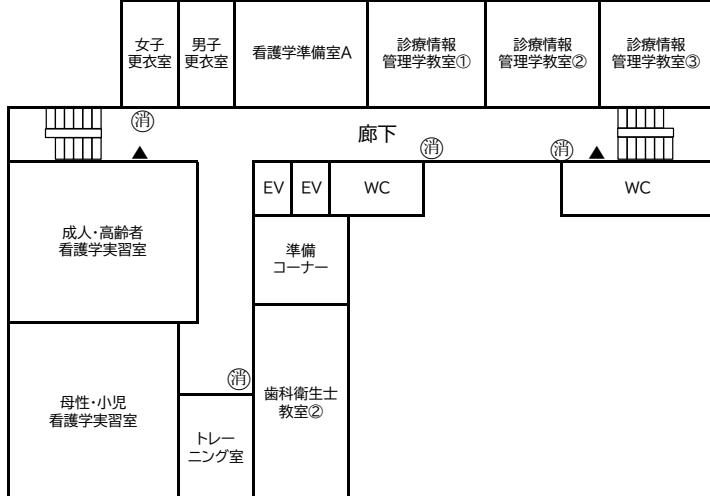
1F



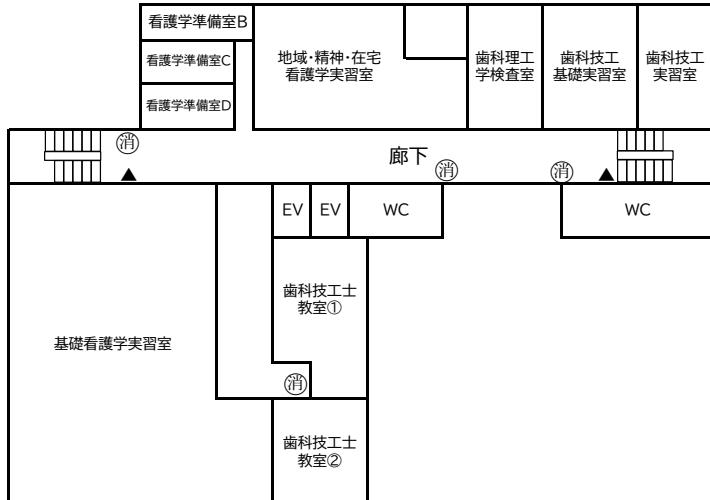
4F



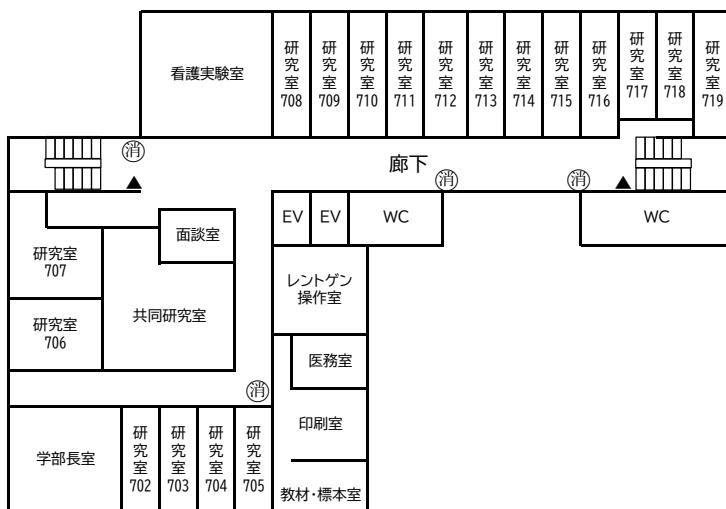
5F



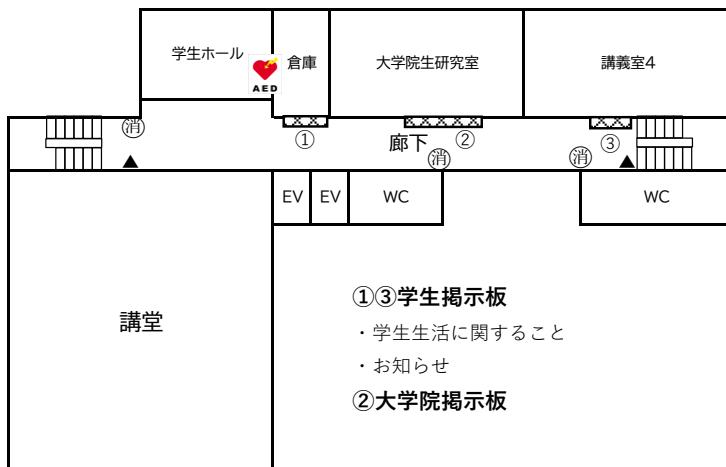
6F



7F



8F



RF

屋上には、カフェ・スペース（学生ホール）があります。